

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 新潟県

自治体名：新潟県

担当課名：保健体育課

電話番号：025-280-5643

# 1.自治体の基本情報

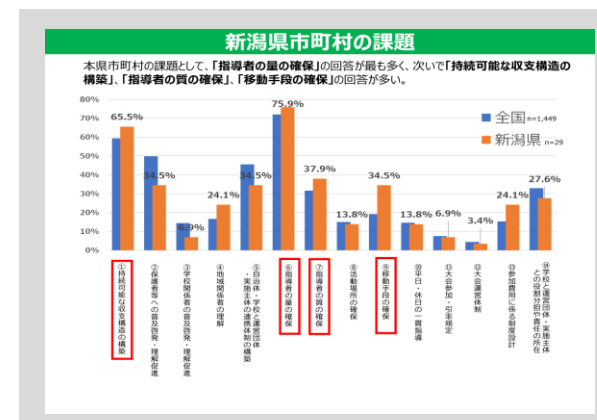
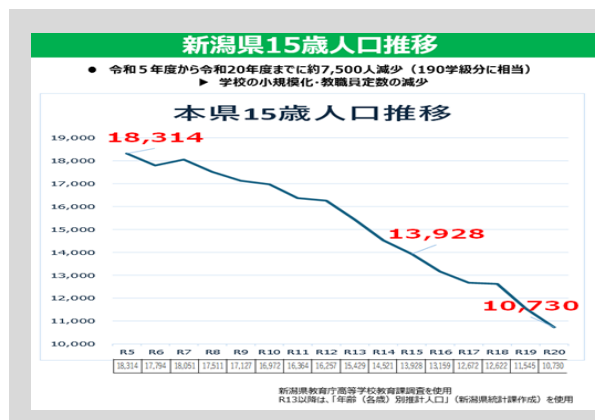
## 基本情報

面積	12,584 km <sup>2</sup>
人口	2,098,804 人
公立中学校数	228 校
公立中学校生徒数	51,574 人
部活動数	1,115 部活
都道府県の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
都道府県の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済み

## 地域連携・地域移行における都道府県の現状・課題

- 本県の15歳人口は、今後15年で約7,500人減少（190学級分に相当）すると予想され、学校の小規模化や教職員数の減少が進む一方、統廃合が進まないことから、学校単位で複数のチームスポーツを維持することが困難となる。このような状況を踏まえ、中学生に新たなスポーツ環境を提供し、地域スポーツへの移行を推進することが不可欠である。
- 令和6年8月時点で、既に休日部活動を実施していない1村を除く29市町村（政令市含む）において、協議会の設置や推進計画の策定が完了している。
- 県の独自調査では、全体の92.3%が令和7年度末までに休日部活動の地域移行を目標に取組を進めている。

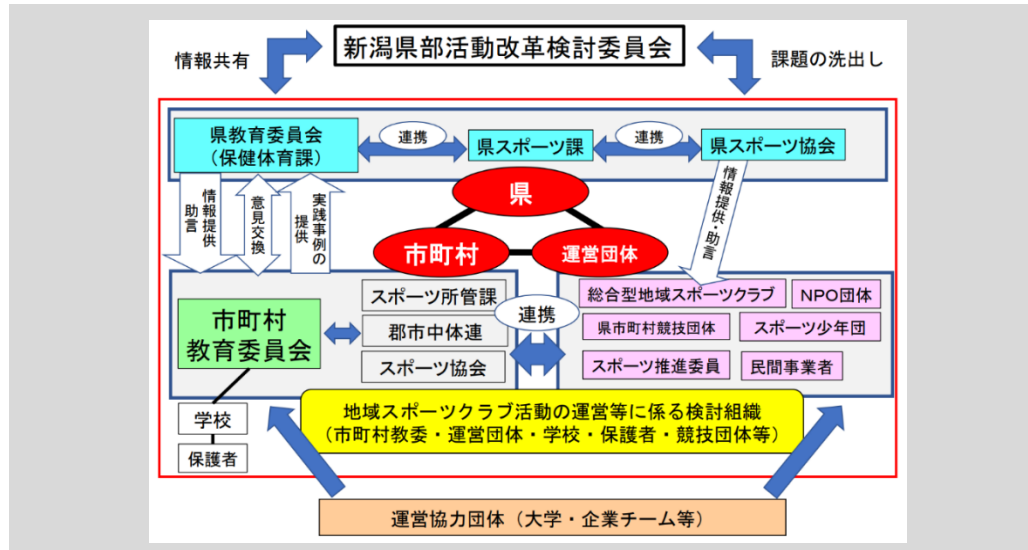
- 令和6年5月に実施されたスポーツ庁の「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインに係るフォローアップ調査」によると、本県では、「指導者の量の確保」が最も多く、次いで「持続可能な収支構造の構築」、「指導者の質の確保」、「移動手段の確保」の順に多い結果となった。
- 令和6年12月時点で、30市町村中29市町村において392の地域クラブが設置されているが、持続可能な運営体制の構築が喫緊の課題となっている。
- 教育委員会が中心となり県全体の底上げを進めてきたが、今後はスポーツ課など関係機関との連携をさらに強化する必要がある。



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（都道府県における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・保健体育課…運動部活動改革の主幹、中体連や市町村行政との調整・連携 等
- ・義務教育課…文化部活動改革、教員の服務管理の主幹 等

##### ◎首長部局

- ・観光文化スポーツ部…スポーツ関係団体との連携、競技団体・総合型クラブ等運営団体との連携

### 年間の事業スケジュール

令和6年5月	第1回市町村担当者連絡協議会
令和6年6月	指導者バンクの開設
令和6年7月	地域クラブ活動リスト調査①
令和6年8月	指導者バンクの広報活動
令和6年9月	市町村訪問
令和6年10月	第2回市町村担当者連絡協議会
令和6年11月	市町村訪問
令和6年12月	地域クラブ活動リスト調査②
令和7年1月	重点地域シンポジウム開催

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

○市町村担当者連絡協議会を開催し、担当者間の情報交換を促進し、市町村間での広域連携を図る。

○特に取組が遅れている市町村が複数あるため、協議会を開催し、県内外の好事例を共有するとともに、担当者間の意思疎通を図り、県全体の取組を推進する。

##### 取組の成果

○第1回市町村担当者会議を初めて対面で開催し、以下の内容を実施。参加者の96%が「大変参考になった」と回答し、特に③地域スポーツクラブ活動アドバイザーの講演が好評だった。さらに、近隣市町村との意見交換の場を設けたことで、下越地域（7市町村）の担当者意見交換会が自発的に開催されるなど、取組の広がりにつながった。

- ①県担当者により新潟県の取組の現状
- ②令和5年度地域クラブ活動体制整備事業報告
- ③地域スポーツクラブ活動アドバイザー講演
- ④グループ協議

第1部：課題別の意見交換

第2部：近隣市町村との意見交換



課題別の意見交換の様子

##### 県担当者の具体的な動きの実績

- ・2市町村の協議会やPTA連合会研修会に講師として参加し、県内外の取組事例等を紹介
- ・延べ22市町村を巡回し課題等のヒアリング・助言等を実施
- ・各種調査を実施、市町村の課題や進捗状況を把握

##### 今後の課題と対応方針

- ・各市町村における協議会の設置や推進計画の策定が完了し、地域の実情に応じた取組が進められたが、地域クラブ活動の要件や、適切なガバナンスの確立など、持続可能な運営体制の構築に向け、県スポーツ課や県スポーツ協会との協力体制が求められている。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
**イ：指導者の質の保障・量の確保**  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



スポーツ庁

## ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

### 取組事項

- 県が人材バンクを設置し、市町村の指導者確保を支援する。
- 人口の少ない町村部では人材不足が深刻であるため、退職教員や大学生などの地域人材を掘り起こし、指導者確保を支援する必要がある。

### 人材バンクの人数

43名

### 人材バンクの年齢構成

20代	6名
30代	8名
40代	7名
50代	14名
60代以上	8名

### 登録者属性

職業	
・会社員	15名
・パート、自営業	10名
・公務員	9名
・その他	6名

### 種目

・軟式野球	8名
・バスケットボール	4名
・バレーボール	4名
・ダンス	4名
・空手道	4名
・水泳、卓球、ソフトテニス、サッカー、陸上競技、ボート、剣道 等	

### 資格有無

有資格者割合 46.5%  
 〔主な資格〕  
 ・コーチ1・2・3  
 ・コーチングアシスタント  
 ・JFAC級ライセンス  
 ・障害者スポーツ指導員C級 等

### 取組の成果

- 人材不足が懸念される市町村を訪問した際の要望を受け、6月に県の電子申請システムを活用した人材バンクを設置した。
- 周知活動として、各競技団体や市町村へのパンフレット配布に加え、県行政の紹介番組や地元テレビ番組へ出演し広報を行った。
- しかし、新規登録者の伸び悩みや任用実績が1件にとどまるなど、十分に活用されていないのが現状である。
- 次年度は、実証事業を活用した資格取得支援を予定し、受講者の人材バンク登録を必須とすることで新規登録者の確保に努める。また、民間企業への働きかけも強化する。



パンフレット表面

パンフレット裏面

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
**ウ：関係団体・分野との連携強化**  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

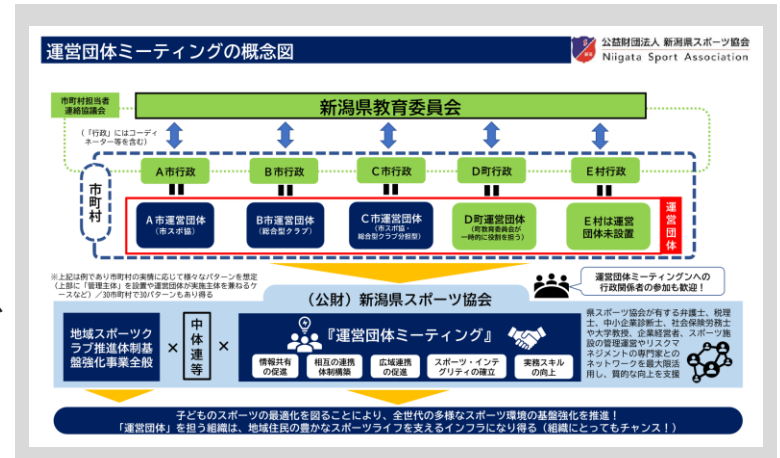
### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

#### 取組事項

- 県スポーツ課や県スポーツ協会と連携し、市町村の取組を支援するとともに、役割を明確にする。
- 現在、教育委員会が主体となって取組を進めているが、持続可能な地域クラブの体制整備には、県スポーツ協会や関係部局との連携と役割分担が一層重要となる。

#### 取組の成果

- （公財）新潟県スポーツ協会が主催する「運営団体ミーティング」のアドバイザーとして事業に参画し、本県の取組状況の報告や市町村担当者等からの個別相談等を行った。
- （公財）新潟県スポーツ協会は、令和6年度から部活動の地域移行に伴う運営団体の重要性を踏まえ、「運営団体ミーティング」を開催し、子どものスポーツ環境の最適化を推進した。さらに、「中学生代の多様なスポーツ推進ミーティング」などを通じ、市町村の取組に貢献しており、今後も一層連携した取組を推進していく。



「運営団体ミーティング」の概要図  
 （公財）新潟県スポーツ協会提供

#### （公財）新潟県スポーツ協会主催事業

- 「運営団体ミーティング」  
 第1回9月、第2回12月、第3回2月
- 「中学生代の多様なスポーツ推進ミーティング」12月  
 上記ミーティングにアドバイザーとして参画

#### 新潟県小中学校PTA連合会主催事業

- 新潟県小中学校PTA研究大会 10月
- 新潟県小中学校PTA連合会教育問題研修会 11月  
 上記大会・研修会に発表者・講師として参加

#### 今後の課題と対応方針

- 持続可能な運営団体の整備に向け、県スポーツ課との役割分担を明確にするとともに、移動手段や財源の確保、民間企業との連携が一層重要となるため、全庁的な連携体制の構築を進める。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

#### 取組事項

○少子化と人材不足が進む中、活動を続けるためには市町村間の連携が重要であり、県担当者が調整することで、指導者不足の解消や活動機会の均等化を目指す。

#### 県の役割

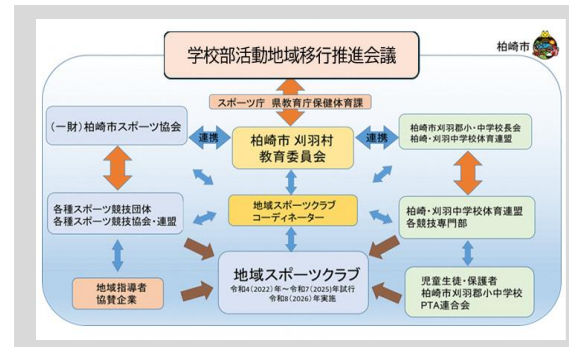
○市町村担当者連絡協議会において、近隣市町村間で意見交換を行う場を設定する。  
 ○近隣市町村間の協議会において、必要な情報の提供や指導助言を行い、自発的な取組につなげる。

#### 県内の取組事例

○近隣市町村間の担当者連絡協議会の開催  
 長岡市、見附市、小千谷市、出雲崎町：5月  
 〔主な協議題〕  
 ・各市町の取組の現状について状況報告について  
 ・市町をまたぐ生徒の参加についての方向性について 等  
 新発田市、阿賀野市、五泉市、村上市、胎内市、聖籠町、関川村：7月  
 〔主な協議題〕  
 ・市町村を跨いだクラブチームの参加について  
 ・市町村を跨いだ教員の兼職兼業について  
 ・それぞれの市町村の進捗状況等について 等

#### 取組の成果

○昨年度に続き、柏崎市と刈羽村の合同クラブ活動をはじめ、近隣市町村の担当者による協議会が自発的に開催されるなど、実践事例が増加した。



柏崎市・刈羽村の運営体制図

#### 今後の課題と対応方針

○特に人口の少ない市町村では、少子化の進展により既存の地域クラブ活動の存続が難しくなると予想されるため、今後は中長期的な視点で環境整備が重要となる。

# 2.実証内容と成果

- ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 オ：内容の充実

#### 取組事項

○部活動にない競技の設置や生徒のレベルに応じた多様な活動を行っている市町村がある一方で、多くの市町村は既存の部活動をそのまま地域に移行している事例が多いことから、市町村において、児童生徒アンケートを実施するなど、生徒の意見や考え方を踏まえた地域クラブ活動の体制整備を進めるよう指導助言を行う。

#### 取組の成果

- 弥彦村：
    - 地域クラブ活動推進委員会の委員に生徒を委嘱することで、生徒の声を反映させ地域クラブ活動の充実を図る。
  - 佐渡市：
    - 生徒のニーズに応じた多様な活動機会の提供。(エンジョイ型)
- 以上のように、生徒を中心に据えた協議会の設置や実践事例が報告された。

#### 今後の課題と対応方針

○生徒の意見や考え方を踏まえた実践事例が増えるよう、引き続き、県内外の好事例を情報提供するとともに、現在、重点地域の政策課題である「多様なスポーツ体験機会の提供」の取組を一層推進していく。



地域クラブ活動推進委員会の委員の委嘱を受ける生徒 (弥彦村提供)

### 佐渡市地域クラブ活動だより

令和6年度地域クラブ活動がスタート!

今年度より「佐渡市地域クラブ活動」が始まりました。5月からは2回ペースで開催しています。今年度は種目も増え、エンジョイ型も実施の申込みがありました。その後も申し込みが続いていますが、種目によってはまだ申し込みがなかったり少なすぎたりしています。申し込み状況をお知らせしますので、ぜひご検討ください。

スキー部	○吹上 6名	○ソフトニス 44名	○バドミントン 9-43名	○バドミントン 16名
○野球 5名	○野球 11名	○バレーボール 7名		

エンジョイ型(個人数)

【大みそか】

○ドッジボール 11名
 ○マラソン 14名 | ○競走 3名 | ○競走 1名 || ○サッカー 1名 | ○スキー 36名 | ○陸上 8名 | ○ゴルフ 2名 | ○野球 3名 | ○野球 4名 |
| ○自転車 5名 | ○球技 5名 | ○ダンス 7名 | ○柔道 3名 | ○剣道 1名 |  |

【文化】

○吹上 12名
 ○野球 8名 | ○ギター 11名 | ○イラスト 16名 | ○囲碁 3名 | ○囲碁 4名 || ○写真 7名 | ○プログラミング 5名 | ○新聞作り 15名 | ○英語 12名 | ○英語 6名 | ○英語 13名 |
| ○数学 2名 | ○英語 3名 | ○英語 23名 | ○英語 7名 | ○英語 10名 | ○英語 10名 |
| ○英語 17名 | ○英語 0名 | ○英語 0名 | ○英語 0名 |  |  |

佐渡市地域クラブ活動の目標  
「スポーツ文化活動を通じ、生きる力を養い、自己実現を図る」  
趣味や技術の向上のみならず、楽しく取り組むことで、生涯を通じてスポーツ文化に親しむ態度を養うことが大切です。地域の指導者、友達、異年齢の人との交流・協働によってコミュニティ意識の向上や、生徒が自ら活動を選択し、自分の力で可能性を再認識できる機会となることを目指しています。  
→詳しくは、佐渡市地域クラブ活動推進委員会(佐渡クラブ)をご覧ください。  
(<https://www.city.sado.niigata.jp/site/chikiclub/53516.html>)

### 佐渡市地域クラブ活動だより

地域クラブ活動 続々と新しい種目

佐渡市地域クラブ活動では、今年度新しい種目が次々にスタートします。部活動にはなかった種目やコースターボールなども取り入れています。今まで体験したことのない種目を体験し、楽しんでくれるのが私たちの願いです。申し込みは早めから大丈夫です。ぜひ、今年度新しい種目として始めたボルダリングと生徒探究(1年編)の活動の様子をご紹介します。

#### ボルダリング

ボルダリングを通して、挑戦や達成の喜びを味わい、仲間と協力して乗り越える楽しさを体験しています。

〇その時の気持ちや発見、楽しさを共有し、達成感や達成感、仲間との協力や協力関係の構築など、様々な学びが得られます。

佐渡市地域クラブ活動だより (佐渡市提供)

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

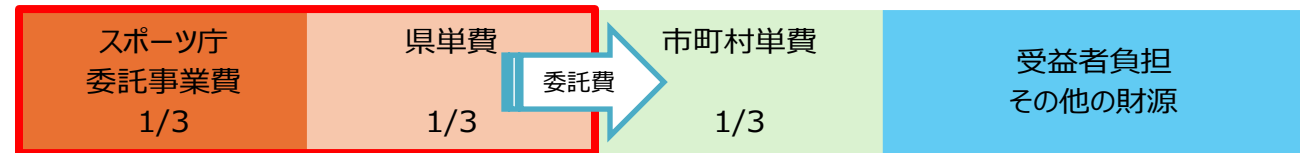
### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

#### 取組事項

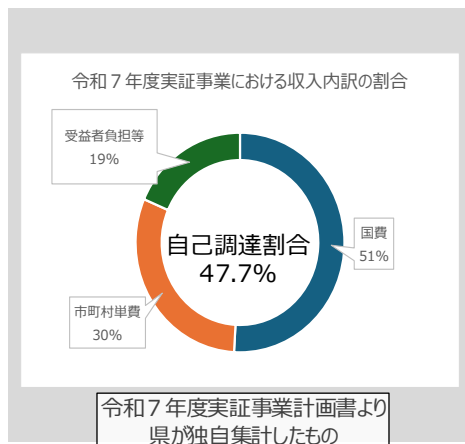
- 県国市町村が3分の1ずつ負担することで、受益者負担を支援する。
- 実証事業に参加する全ての市町村に一定の受益者負担を求めて、自走化に向けた適正な受益者負担の在り方について検討する。

#### 新潟県における実証事業に向けた経費分担の考え方

受益者負担やその他の財源を除いた事業費を国県市町村がそれぞれ1/3ずつ負担し、国県2/3の額を市町村へ委託費としている。



#### 取組の成果



○令和7年度の実証事業では、各市町村で受益者負担の必要性への理解が進み、自走化に向けた体制整備が整いつつあることから、県の財政支援（従来の1/3負担）を見直し、課題解決に向けた後方支援を強化する方針に転換できた。

#### 今後の課題と対応方針



○受益者負担の理解は浸透しつつあるが、財源確保の取り組みには発展していない。令和7年度の実証事業では、企業協賛や企業版ふるさと納税など新たな手法の研究が求められる。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

○令和6年度の実証事業には、新潟市を含む25市町村が参加し、前年比2増となった。各市町村は本事業を活用し、総括コーディネーターの新規配置など、地域の実情に応じた体制整備を進めてきた他、事業を活用しない市町村も独自財源で取り組みを推進してきた。

○令和6年8月末時点で、休日の部活動を実施していない1村を除くすべての市町村で協議会の設置や推進計画の策定が完了し、同年12月時点では30市町村中29市町村で392の地域クラブが設置されるなど、面的な取組が進んでいる。また、平日と休日を一体的に運営する事例も見られ、一定の成果があった。

○一方で、地域クラブの認定条件、危機管理や資金管理を含むガバナンスの確立、民間企業に勤務する指導者の参加を促進するための環境整備、持続可能な運営のための財源確保や人材育成など、新たな課題への対応が求められている。これまで教育委員会が主体となり取組を推進してきたが、今後は全庁的な連携がより一層重要となる。

#### ●成果の評価

○休日の部活動を実施していない1村を除くすべての市町村で、協議会の設置や推進計画の策定が完了し、新たな地域クラブ活動も着実に増加していることは、大きな成果といえる。また、平日と休日の移行を一体的に進める事例や、すでに休日の移行を完了した事例に加え、生徒のニーズに応じた活動の提供や、生徒の意見を反映した協議会の開催など、特色ある取組も増えている。

○ただし、地域移行（地域展開）は完了やゴールというものはなく、たえずPDCAサイクルを回し、より良い環境を整えていくことが求められる。

#### ●今後に向けて

○新潟県では、令和5年3月に県の方針を示し、国が「改革推進期間」と定めた令和5年度から令和7年度までの3年間で、休日の部活動を段階的に地域へ移行することを目指して取り組んでいる。

○各市町村も県の方針に基づき、協議会の設置や推進計画の策定、国の実証事業の活用などを通じて、部活動に代わる新たなスポーツ環境の整備を進めてきた。

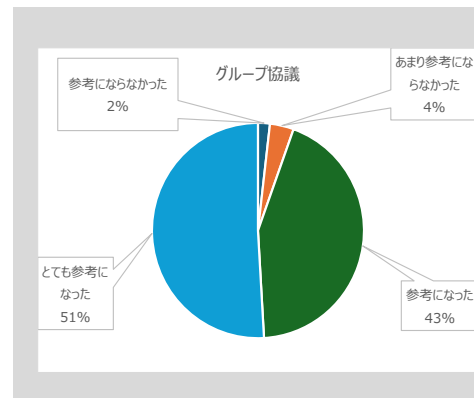
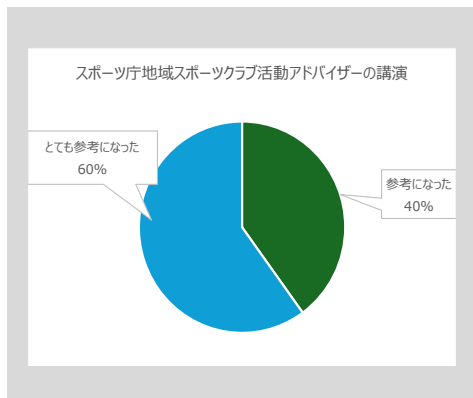
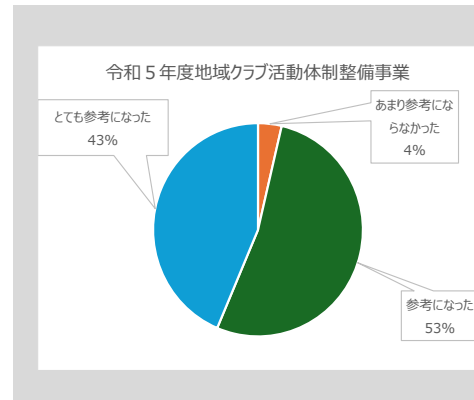
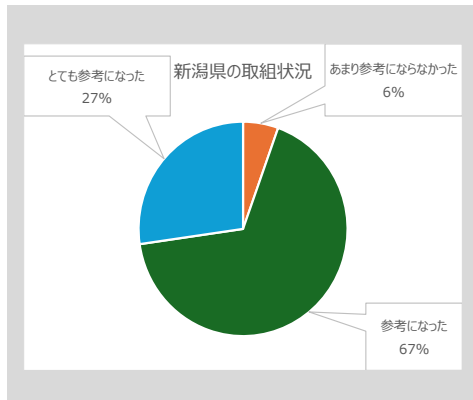
○しかし、市町村によって進捗状況や課題に差があるため、教育委員会だけでなく、全庁的な連携と支援が一層重要となる。

○また、現在、国の有識者会議では次期改革期間についての検討が進められており、本県のこれまでの取組を検証・評価し、今後の県の方針やガイドラインの見直しを進めていく。

### 第1回市町村担当者連絡協議会の事後アンケート結果・参加者の声

#### ●事後アンケート結果

Q.実施した内容についての感想をお聞かせください。



実施した全ての内容について、90%以上が「とても参考となった」「参考となった」と回答があった。また、開催方式では初めて参集型で実施したが、オンライン型やハイブリット型を希望する参加も一定数おり、今後の参考としたい。

#### ●参加者の声

Q.今後どのような情報や支援があると良いですか？

##### 【事例紹介】

- ・各市町村の情報にアクセスできるデータベース的なものがあるとありがたい。
- ・地域クラブ立ち上げ、継続への道筋、経験された市町村を例に時系列でまとめたものが欲しい。

##### 【中体連に関する内容】

- ・R8年度からの大会出場の方向性についての情報提供 等
- ・今後の中体連の動きについて丁寧な説明がほしい。

##### 【財政支援に関する内容】

- ・いつまで部活動手当が認められるのか、国の財政支援がいつまで継続されるのか。
- ・今後の財政支援の見通しがわかると計画が立てやすい。

##### 【その他】

- ・個別支援（困りごとに即応してもらえる相談窓口）
- ・今後も他市町村との情報交換をする場の設定
- ・オンデマンドによる指導者研修動画の配信

## 2.実証内容と成果②

### 参考資料（人材バンクの周知活動）



【週刊県政ナビ 令和6年9月1日放送】



【人材バンクの設置理由の説明】



【登録者へのインタビュー】

### にいがた地域クラブ活動指導者バンク

#### 応募資格

市町村が部活動の地域移行を目的に設置した  
地域スポーツ・文化芸術クラブ活動で  
指導を担うことができる18歳以上の方

#### 問い合わせ 新潟県教育委員会

スポーツ活動：保健体育課 部活動改革担当

**025-280-5643**

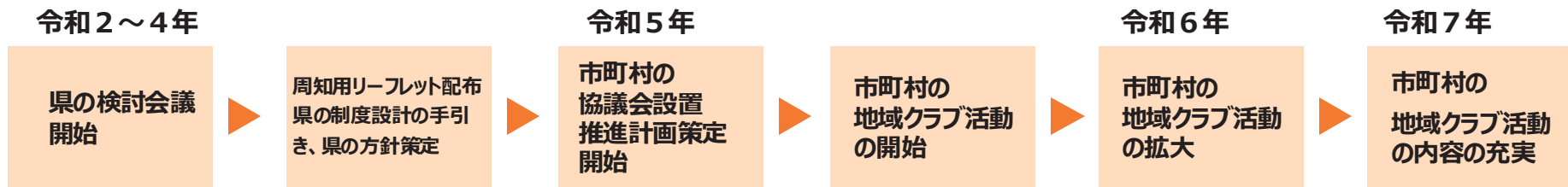
文化芸術活動：義務教育課 管理企画係

**025-280-5629**



【応募資格と問い合わせ先の紹介】

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ステークホルダー

市町村行政、県スポーツ協会、県中体連、競技団体

#### 経過

令和2年度から検討委員会を設置し、モデル事業の効果を検証するとともに、地域移行に向けた課題の解決について議論を進めた。令和5年度には、生徒・保護者・教職員向けのリーフレットを配布し、制度設計の手引きを作成するとともに、県の方針を策定し、市町村教育委員会へ通知した。

#### 実施内容

令和5～6年度においては、国の実証事業に対し県が財政支援を行い、市町村と一体となって取組を推進した。また、この間、各種調査を通じて市町村の進捗状況を把握するとともに、県主催の市町村担当者連絡協議会の開催や、県スポーツ協会主催の地域ミーティング・運営団体ミーティングなどを通じて、市町村の取組を支援した。

#### 実施にあたって生じた課題

各市町村で進め方や進度に大きな差が生じており、一律に指導や助言を行うことが困難になっている。全国的には先進的な取り組みを進める市町村がある一方で、関係者との合意形成に時間がかかり、なかなか取り組みが進まない市町村もあり、こうした格差の解消が大きな課題となっている。

また、新たな地域クラブ活動は着実に増加しているが、安全管理体制の構築、安定した財源の確保、ガバナンスの確立など、持続可能な環境整備の充実が求められている。

#### 今後の展開

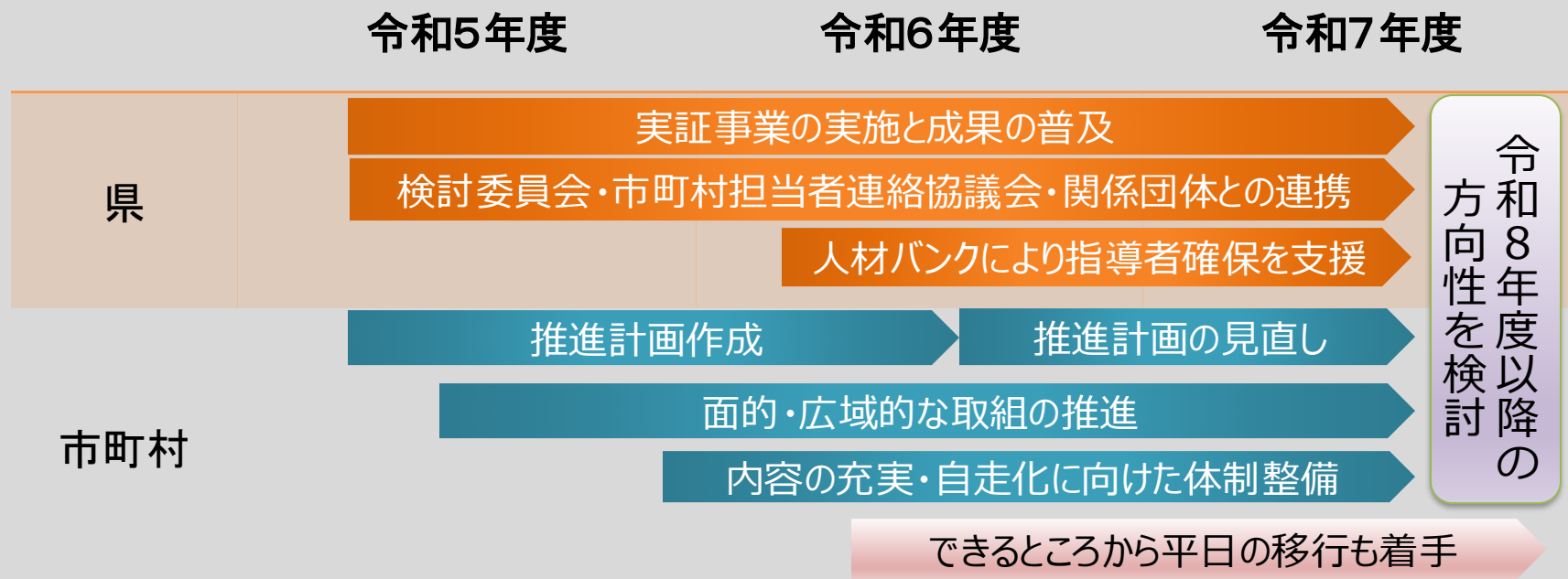
多くの市町村では、令和7年度末までに休日部活動の移行を完了することを目指している。国の実証事業を活用し、地域クラブ活動の増設などにより取り組みが加速する一方で、課題の複雑化も予想されるため、関係部局との連携が不可欠である。また、令和7年度は国の動向を注視しながら、令和8年度以降の方針やガイドラインの見直しに着手する予定である。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

○新潟県では、令和5年3月に県の方針を示し、国が改革推進期間とした、令和5年度から令和7年度までの3年間に、休日の部活動の段階的な地域移行が完了するよう取組を進め、地域移行完了後は、原則休日の部活動は行わないこととしている。

○現在、国の有識者会議では次期改革期間についての検討が進められており、本県のこれまでの取組を検証・評価し、今後の県の方針やガイドラインの見直しを進めていく。



令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 新潟県 三条市

自治体名：新潟県三条市

担当課名：教育委員会学校教育課

電話番号：0256-45-1112

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	431.97 km <sup>2</sup>
人口	91,905 人
公立中学校数	9 校
公立中学校生徒数	2,205 人
部活動数	74 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

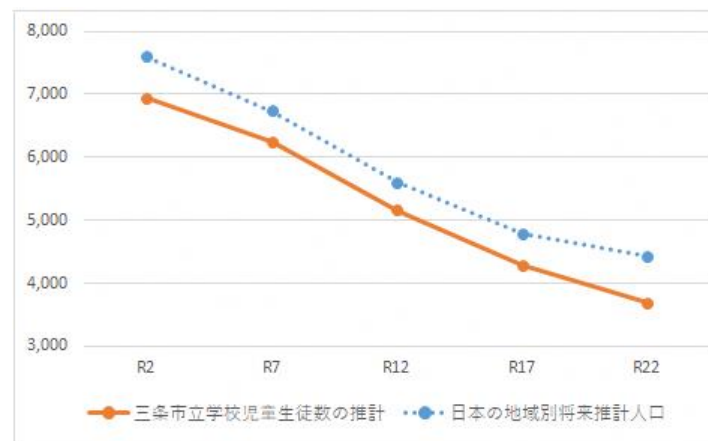
令和5年度に柔道、軟式野球、陸上競技の3種目、令和6年度にバレーボール、剣道、ソフトテニスの3種目の休日の地域クラブ活動を開始し、各種目において、月2回程度の活動を行った。

急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツを親しむ機会として、地域クラブを持続可能な活動・運営にしていく必要がある。

課題は多くあるが、これまで部活動が担ってきた役割を継承するとともに、新たなスポーツ環境を創出し、魅力ある地域クラブ活動を進めることが重要となる。

また、地域クラブの指導においても、兼職兼業教職員に頼らない指導者の確保や資質の向上が必要不可欠となる。

今後も関係団体からの理解と協力をいただきながら、実情に応じた柔軟な取組を推進していく。

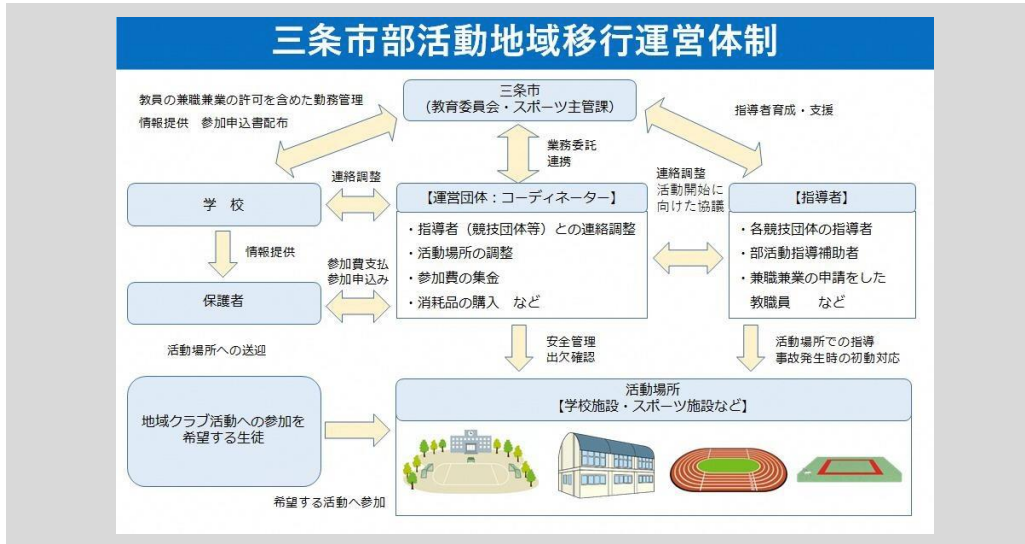


「日本の地域別将来推計人口」は信憑性の高いものと捉えているが、全市的な推計である。人口の推移は地域によって違うことから、「三條市立学校児童生徒数の推計」では、各小学校単位で幾何平均による推計としている。

	R2	R7	R12	R17	R22
三條市立学校児童生徒数の推計	6,935	6,235	5,151	4,282	3,687
日本の地域別将来推計人口	7,591	6,733	5,600	4,790	4,417

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会（学校教育課）

- ・事業全体の管理 ・三條市スポーツ協会への業務委託
- ・教職員の兼職兼業の管理
- ・三條市中学生の地域クラブ活動推進委員会事務局

#### ◎首長部局（健康づくり課スポーツ振興室）

- ・三條市スポーツ協会との連携
- ・地域クラブ活動の指導者講習に関する業務
- ・三條市中学生の地域クラブ活動推進委員会事務局

## 年間の事業スケジュール

令和6年4月	地域クラブ活動「陸上競技」開始
令和6年5月	地域クラブ活動「柔道」開始
令和6年6月	第1回三條市中学生の地域クラブ活動推進委員会開催
令和6年9月	地域クラブ活動「バレーボール」「剣道」開始
令和6年10月	地域クラブ活動「軟式野球」開始 第2回三條市中学生の地域クラブ活動推進委員会開催
令和6年12月	地域クラブ活動「ソフトテニス」開始
令和7年2月	第3回中学生の地域クラブ活動推進委員会開催
随時	三條市スポーツ協会、各種競技団体等、関係団体とのミーティング 各校部活動顧問へのヒアリング 校長会等での進捗報告 教職員の兼職兼業の手続 参加生徒・指導者の保険加入

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	9 校	実施した地域クラブ総数	6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		6 クラブ（39 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	124 人	全体の運営スタッフ数	4 人

#### ②各クラブに関すること

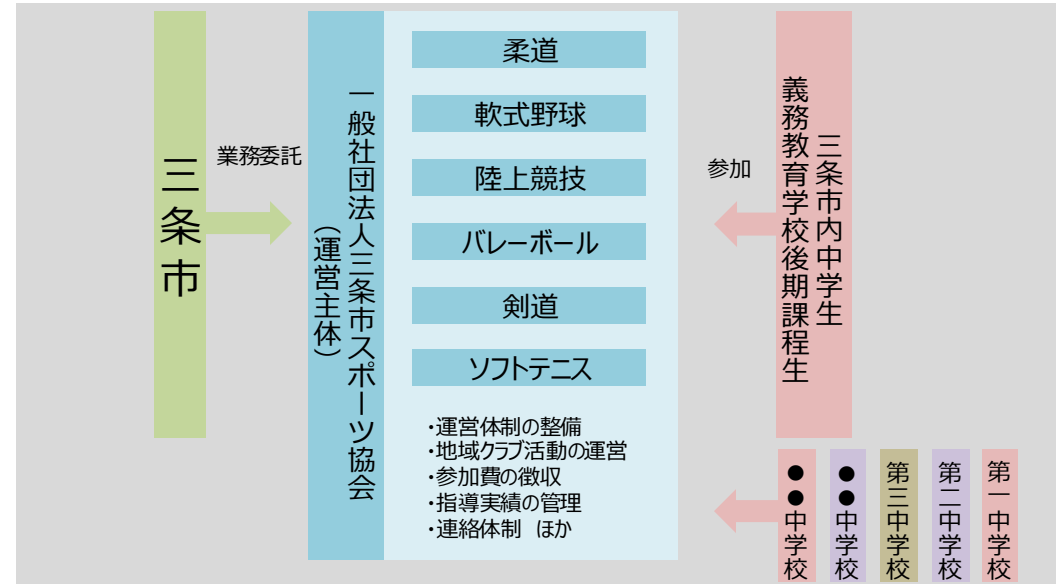
クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
三条市地域クラブ活動 (陸上競技)	一般社団法人三条市スポーツ協会 (各種競技団体)	陸上競技	月 2 回程度	9:00～ 12:00	98人	4月～	三条燕総合グラウンド 等	14 人	1 人 (内、兼務 1 人)	年会費 1,000円	部活動を原則とする
三条市地域クラブ活動 (柔道)		柔道	月 2 回程度	9:00～ 12:00	17人	5月～	三条体育文化会館	9 人	1 人 (内、兼務 1 人)		
三条市地域クラブ活動 (バレーボール)		バレーボール (新)	各会場 月 1 回程度	9:00～ 12:00	82人	9月～	三条市内中学校体育館 等	51 人	1 人 (内、兼務 1 人)		
三条市地域クラブ活動 (剣道)		剣道 (新)	月 2 回程度	9:00～ 12:00	16人	9月～	旧第一中学校体育館	21人	1 人 (内、兼務 1 人)		
三条市地域クラブ活動 (軟式野球)		軟式野球	各会場 週 1 回・月 4 回程度	9:00～ 12:00	80人	10月～	三条燕総合グラウンド 等	19人	1 人 (内、兼務 1 人)		
三条市地域クラブ活動 (ソフトテニス)		ソフトテニス (新)	月 2 回程度	13:00～ 16:00	43人	12月～	三条市立第一中学校	10人	1 人 (内、兼務 1 人)		

## 主な取組例

### ●地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	柔道、軟式野球、陸上競技、バレーボール、剣道、ソフトテニス
運営団体名	一般社団法人三条市スポーツ協会
期間と日数	陸上競技：4月～月2回程度 柔道：5月～月2回程度 バレーボール、剣道：9月～月2回程度 軟式野球：10月～月4回程度 ソフトテニス：12月～月2回程度
指導者の主な属性	各種競技団体、兼職兼業教職員
活動場所	公営施設（グラウンド、体育館） 中学校体育館
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	年間 1,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括コーディネーター 1名  
役割：休日の地域クラブ活動の運営体制の構築と管理・運営を行う
- 種目コーディネーター 3名  
役割：担当種目の地域クラブ活動における全般的な運営を行う
- 指導者 124名  
役割：各種目における地域クラブ活動の技術的指導等を行う

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### 取組事項

○地域クラブの運営・管理を行う総括コーディネーターを1名配置し、運営体制の構築等の総合的業務を行う。

○各種目コーディネーターを3名配置し、地域クラブ活動を開始するための準備及び各競技団体との連絡調整等、活動するための業務全般を行う。

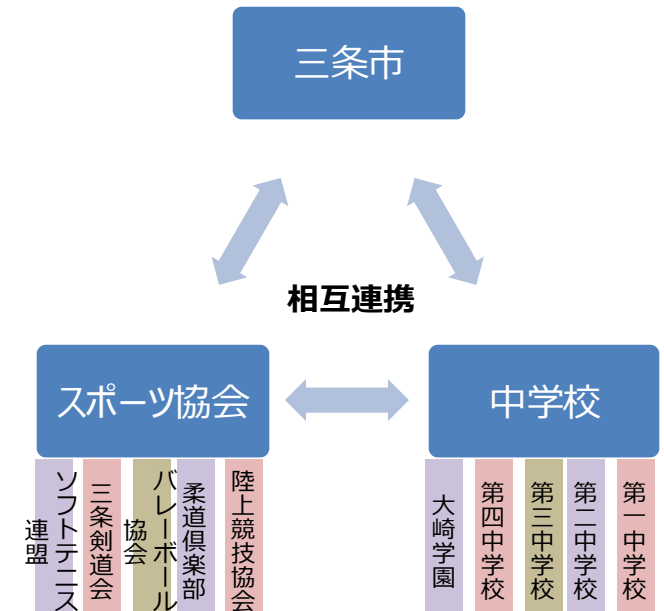
○地域クラブの指導者として、各競技団体と定期的にミーティングを行い、ヒアリング・助言等を行う。

#### 取組の成果

○総括コーディネーターを運営団体に配置したことにより、関係団体との連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。

○各種目ごとにコーディネーターを配置したことにより、各競技団体との連携をスムーズに行うことができた。また、定期的なミーティングを行うことで、活動における課題を共有でき、より良い活動に繋げることができた。

○三条市、運営団体、指導者それぞれにおける役割分担を明確化し、必要に応じて連携するなど、地域クラブを構築・運営する体制を整備することができた。



#### 各コーディネーターの具体的な動きの実績

##### 【各コーディネーター】

- ・定期的に各クラブを巡回し、課題等のヒアリング・助言等を実施した。
- ・定例会等の調整等を行い、関係団体との連携に努めた。
- ・参加者、指導者への連絡調整を行った。

#### 今後の課題と対応方針

- 令和7年度に活動予定の3種目（バスケットボール、サッカー、卓球）は部員数及び活動拠点多くなると、指導者の確保が難しくなるため、既存のスポーツクラブを活用しながら、地域クラブの運営方針を協議していく必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

- ・三条市スポーツ協会を通じた関係団体への呼びかけやチラシによる広報
- ・三条市立中学校体育系部活動指導補助者や部活動指導員等の人材の活用
- ・兼職兼業による指導を希望する教職員の募集
- ・令和5年度に作成した「三条市スポーツ指導者育成講習会動画」の活用

**三条市**  
中学生の休日地域クラブ活動  
**指導者募集!!**

例、部活動地域移行の活動に関わりたい方、  
高校や大学まで競技歴のある方、保護者の方など。

謝金：1,600円/時間(原則3時間程度の指導)  
指導回数：月1～2回程度(土・日・祝日のいずれか)  
募集種目：軟式野球 場所→各中学校グラウンド  
指導主体→兼職兼業の先生方  
地域指導者  
陸上競技 場所→三条・蒸総合グラウンド  
指導主体→三条市陸上競技協会  
柔道 場所→三条市体育文化会館  
指導主体→三条柔道倶楽部

ソフトテニス、バレーボール、剣道も募集しています。  
各競技詳細につきましては  
こちらからご覧ください。

##### 取組の成果

- ・三条市スポーツ協会が三条市内の各種競技団体等と連携したり、学校教育課から部活動顧問に情報発信したりすることで、新規3種目についても指導者を一定数確保することができた。
- ・三条市立中学校体育系部活動指導補助者や部活動指導員から地域クラブ活動の指導に従事してもらった。

部活動指導員：ソフトテニス1名

三条市立中学校体育系部活動指導補助者：柔道2名、バレーボール1名、軟式野球3名



三条市スポーツ指導者育成講習会動画 スポーツ医学2 障害予防 より  
<https://www.youtube.com/watch?v=9BnI6N2O7Rs>

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の内容・実績

###### 【バレーボール指導者講習会】

- ・開催日：8月25日
- ・内容：部活動地域移行の概要と生徒指導について
- ・参加人数：バレーボール指導者 31人

###### 【指導者スキルUP講座】

- ・開催日：9月7日
- ・内容：小～中学生年代の発育の特徴、成長に合わせた運動方法
- ・参加人数：22人（うち地域クラブ指導者6人）

###### 【スポーツ指導におけるハラスメント防止・啓発セミナー】

- ・開催日：10月14日
- ・内容：子どもをスポハラから守るために保護者が知っておくべきこと ほか
- ・参加人数：27人（うち地域クラブ指導者4人）

###### 【県央SNWスポーツ指導者研修会】

- ・開催日：11月24日
- ・内容：トレーニングの種類と進め方・コンディショニング ほか
- ・参加人数：36人（うち地域クラブ指導者13人）

※研修会、講習会等の主催は、三条市スポーツ協会、県央スポーツネットワーク ほか

##### 指導者研修の内容・実績

###### 【グッドコーチング研修会】

- ・開催日：1月19日
- ・内容：指導者の学ぶべきコーチング、スキルを学ぶ
- ・参加人数：61人（うち地域クラブ指導者16人）

###### 【県央SNWスポーツ指導者研修会】

- ・開催日：2月23日
- ・内容：コーチング環境・対他者等、メンタルトレーニング
- ・参加人数：36人（うち地域クラブ指導者4人）

###### 【普通救命/AED講習】

- ・開催日：11月23日、1月26日
- ・参加人数：38人

##### 今後の課題と対応方針

地域クラブにおける指導者は規定する研修を受講することになっている。今年度はバレーボールのように指導者が多人数のため専用講習会を開催したが、基本的には三条市スポーツ協会、スポーツ少年団、県央スポーツネットワークが開催している研修に参加してもらうこととしている。

指導者の質及びスキル等について、どの水準まで求めていくかは難しい問題だが、能力向上を図るためには、効率的な研修の開催が必要となる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の様子



##### 普通救命/AED講習の様子



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

・三条市スポーツ協会への委託による、各種競技団体やスポーツ少年団等との連携強化

##### 取組の成果

・令和5年度に引き続き、各種競技団体との結びつきの深い三条市スポーツ協会に業務を委託することで、競技ごとのミーティングを定期的かつ綿密に行うことができた。また、三条市スポーツ協会HP内に部活動地域移行に関する特集ページを設置し、地域クラブ通信やアンケート結果等の情報を掲載した。

・三条市スポーツ協会、健康づくり課スポーツ振興室、学校教育課の3者によるミーティングを月に2回程度実施し、進捗の確認や課題の洗い出し、見通しの共有など推進に向けた協議を活発に行うことができた。



三条市スポーツ協会HP内  
「三条市 部活動地域移行【スポーツ】」より  
<https://sanjobukatudoutiikiikou.jimdofree.com/>

##### 今後の課題と対応方針

・今後も定期ミーティングを繰り返す中で、お互いの合意形成を図りながら事業を進めていく。今後、国、県の方針を踏まえながら推進していく事業方針等について、関係団体（三条市スポーツ協会ほか）としっかりと情報共有を図り、適切に事業を推進できるように努める。

・各競技団体との情報交換を通して各競技における課題を把握し、改善していく。これらの内容を地域クラブ活動に生かすとともに、持続可能な地域クラブの運営・管理について協議を進め、体制の深化・強化を目指す。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
**工：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 工：面的・広域的な取組

#### 取組事項

令和5年度に開始の3種目と、令和6年度に新たに開始した3種目の計6種目の実施による情報共有や共通課題の洗い出し、近隣市町村との協議の場の設定などによる取組

#### 取組の成果

- ・種目コーディネーターが定期的に地域クラブ活動を参観し課題把握に努めた。
- ・近隣市町村との情報交換は適宜行ったが、協議の場を設定するには至らなかった。
- ・「三条市地域クラブ活動通信」を3回発行し、全家庭にメール配信するとともに、市のホームページで公開し、進捗状況の周知を図った。

#### 今後の課題と対応方針

参加種目、参加生徒の増加により、課題が増えていくことが想定される。各コーディネーターとの情報交換を密に行い、課題把握に努めるとともに、解決策について協議していく。  
 他の自治体の生徒を受け入れることの可否や、その場合の様々な課題について三条市中学生の地域クラブ活動推進委員会等で検討するとともに、必要に応じて他の自治体の担当者と協議する場を設定していく。

部活動地域移行の情報をお知らせします。  
 【地域クラブ活動通信 (vol. 2)】  
**中学校の部活動は、段階的に「地域クラブ活動」に移行します！**  
 令和6年10月2日発行  
 三条市教育委員会 学校教育課  
 TEL:0256-45-1112 FAX:0256-45-5309

＜三条市 部活動の地域移行に関するQ&A＞  
**Q1 部活動の地域移行って何ですか？**  
 A 子どもたちが将来にわたってスポーツや芸術活動に関わることができるよう環境を整えていくことです。

**Q2 なぜ、部活動の地域移行をするのですか？**  
 A 部活動はこれまで生徒の成長に大きな役割を果たしてきました。しかし、近年の急激な少子化に伴い、学校に希望の部活動がない、部員が少ない(練習等)を完成させることができない学校が増えています。また、教職員が未経験の種目を担当することで、専門的な指導を受けられないなど、近年部活動を継続していく中で様々な課題に直面しています。その課題に対応するための取組です。

**Q3 部活動の地域移行は全面的な流れの中で進んでいるのですか？**  
 A 子どもたちが自分の希望する活動を継続できるよう、令和4年12月に、スポーツ庁から学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインが示されました。その中で、令和5年度から令和7年度まで改革推進期間として定め、当時は休日の部活動の地域移行を段階的に進めていくことになりました。

**Q4 学校の部活動はなくなってしまうのですか？**  
 A 部活動が直になくなってしまふわけではありません。これまで学校が担ってきた部活動を地域クラブ活動へ移行するには、様々な課題を解決して進めなければなりません。また、子どもたちの保護者、教職員、地域の方々にも、移行について理解していただく必要があります。そのため三条市では、令和5年度にアンケート調査等を実施したほか、様々な立場の方で構成する推進委員会を設置し、地域クラブ活動の在り方について検討を重ねています。目指す段階的移行スケジュールについては下の表をご覧ください。

Phase1 (R5～7年度)	Phase2 (R8～10年度)	Phase3 (R11年度)
平日(部活動) 休日(部活動・地域クラブ活動) ※平日は2回練習の地域クラブ活動を実施。 ※段階的に実施種目を増やす。 ※校外施設に練習場を確保する。	平日(部活動・地域クラブ活動) 休日(地域クラブ活動) ※令和8年度から休日の部活動の完全停止を目指す。 ※学校の部活動は平日のみ行われ、休日は地域クラブ活動を行う。 ※平日の地域クラブ活動の開催を確保していく。	平日(地域クラブ活動) 休日(地域クラブ活動) ※部活動を完全に停止し、平日・休日ともに、地域クラブ活動とすることを目標とする。

部活動地域移行の情報をお知らせします。  
 【地域クラブ活動通信 (vol.3)】  
**中学校の部活動は、段階的に「地域クラブ活動」に移行します！**  
 令和7年3月24日発行  
 三条市教育委員会 学校教育課  
 TEL:0256-45-1112 FAX:0256-45-5309

★令和7年度 休日の地域クラブ活動の予定

【スポーツに関して】

休日	すでに開始している6種目(柔道、軟式野球、陸上競技、バレーボール、剣道、ソフトテニス)に加え、バスケ、サッカー、卓球を開始する予定です。
平日	平日は学校の部活動となります。
大会参加	部活動での参加を原則としますが、準備が整った次第、地域クラブで大会に出場する場合があります。

【文化・芸術に関して】

吹奏楽	三条市吹奏楽団から指導者を派遣し、基礎指導及びパート別に専門的な指導を行います。
吹奏楽以外	公民館等でやっている「わくわく文化未来塾」などを地域文化クラブとして位置付け、体験を含めた講師の紹介等を通して中学生の参加を促進します。



○三条市スポーツ協会ホームページにスポーツ種目の部活動地域移行に関わる情報等を掲載しています。(以下 URL をクリック、もしくは右記二次元コードを読み取ってください)

## 地域クラブ活動通信

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 オ：内容の充実

#### 取組事項

・「三条市中学生の地域クラブ活動推進委員会」を計3回開催し、部活動地域移行を推進するために学校関係者や地域の団体、保護者の代表者等から広く意見を求めた。

### 活動の詳細

開催日	第1回 6月3日(月) 第2回 10月18日(金) 第3回 2月26日(水)	参加者数	第1回 17人 第2回 16人 第3回 15人
具体的な内容	<p>【第1回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 部活動地域移行の実績報告</li> <li>令和6年度 部活動地域移行の動向について</li> </ul> <p>【第2回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度 地域クラブの活動状況等について</li> <li>新潟県の部活動の地域移行について</li> </ul> <p>【第3回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度 地域クラブ活動実績</li> <li>令和7年度 地域クラブ活動予定</li> <li>令和8年度以降の地域クラブ活動について</li> </ul>		

### 1 令和6年度 地域クラブ活動実績 ※令和7年1月末現在

種目(スポーツ)	活動開始日	実施回数(予定回数)	指導者数(兼職兼業教員数)	参加生徒数(R5年度)
柔道	5月4日(土)	20回(26回)	9人(1人)	17人(17人)
軟式野球(5拠点)	10月5日(土)	77回(120回)	19人(7人)	80人(70人)
陸上競技	4月20日(土)	17回(22回)	14人(4人)	98人(75人)
バレーボール(4拠点)	9月7日(土)	19回(27回)	51人(9人)	82人
剣道	9月28日(土)	7回(11回)	21人(1人)	16人
ソフトテニス	12月21日(土)	3回(6回)	10人(7人)	43人

### 3 令和8年度以降の地域クラブ活動について

#### (3) 休日の部活動について

令和8年8月以降は原則、休日の部活動を停止し、全種目において地域クラブ活動として行う予定です。  
 ※令和8年度の夏の大会、コンクールが終了した部から順次休日の部活動を停止します。  
**令和8年8月以降、休日部活動は停止**

#### (4) 大会参加について

令和8年度の中体連大会、吹奏楽コンクールへは原則として部活動で参加します。  
 令和8年8月以降の大会やコンクール等へは、原則として地域クラブ活動として参加する予定です。

#### (5) 地域クラブ認定基準について

「地域クラブ認定基準」の策定を検討します。三条市地域クラブに認定された場合の優遇措置として、「学校施設の利用」「一部施設利用料金の減免措置」「各種団体と連携した指導者確保」等を考えています。

#### (6) 平日の部活動について

当面の間、平日の部活動は継続します。ただし、平日の部活動についても国、県の方針等を踏まえ、地域クラブ活動への段階的な移行を検討していきます。  
**国の改革実行期間：前期令和8年～13年 後期令和11年～13年**

第3回 推進委員会資料一部抜粋

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

#### 取組事項

- ・市負担等による低廉な会費の設定に係る取組
- ・経済的困窮世帯への支援

#### 地域クラブに係る経費

##### ■低廉な会費設定

令和5年度から令和7年度までは、年会費1,000円（保険料含む）とし、不足分は市が負担することとした。

##### ■経済的困窮世帯への支援

要保護・準要保護世帯は参加費を免除し、市が負担することとした。

※いずれも、推進計画にて規定

#### 令和8年度以降 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

##### 陸上競技（指導者6人・参加者100人で想定）

項目	費用	月額：2,000円		
項目	費用	項目	費用	
クラブ活動費	2,121,600	参加費	2,400,000	349,600円の マイナス
謝礼金	1,728,000	保険料	80,000	
会場使用料	201,600	合計	2,480,000	
消耗品費	30,000	月額：2,500円		
印刷製本費	30,000	項目	費用	
システム使用料	132,000	参加費	3,000,000	250,400円の プラス
保険料	107,750	保険料	80,000	
生徒	80,000	合計	3,080,000	
指導者	27,750	月額：3,000円		
クラブ運営費	708,000	項目	費用	
人件費	648,000	参加費	3,600,000	850,400円の プラス
通信運搬費	20,000	保険料	80,000	
一般管理費	40,000	合計	3,680,000	
合計	2,829,600			

##### 柔道（指導者3人・参加者15人で想定）

項目	費用	月額：2,000円		
項目	費用	項目	費用	
クラブ活動費	943,800	参加費	360,000	1,279,800円の マイナス
謝礼金	864,000	保険料	12,000	
会場使用料		合計	372,000	
消耗品費	30,000	月額：2,500円		
印刷製本費	30,000	項目	費用	
システム使用料	19,800	参加費	450,000	1,189,800円の マイナス
保険料	28,650	保険料	12,000	
生徒	12,000	合計	462,000	
指導者	16,650	月額：3,000円		
クラブ運営費	708,000	項目	費用	
人件費	648,000	参加費	540,000	1,099,800円の マイナス
通信運搬費	20,000	保険料	12,000	
一般管理費	40,000	合計	552,000	
合計	1,651,800			

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

○今後、地域クラブ活動における保護者等に負担が見込まれる受益者負担を軽減するため、活動場所を施設使用料等の減免対象となる学校体育館及び公共施設を活用するよう調整を行った。

○各学校に地域クラブ活動の拠点となる旨を説明し、事業への協力及び施設利用について、できる限り便宜を図ってもらえるよう調整した。

##### 取組の成果

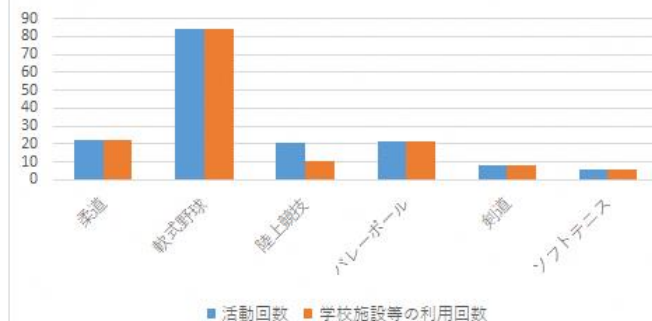
活動拠点となる学校には、定例校長会での説明及び担当教諭に説明し、理解を高めたことで、各学校との連携強化に繋がり、全160回の活動において150回（93.8%）を学校体育施設等を利用しての活動となった。

##### 今後の課題と対応方針

引き続き、学校部活動も行われることから、地域クラブ活動日との調整が必要となる。なお、令和7年度は部員数や活動数が多い種目であるため、学校にはより一層の活動への理解と協力が求められる。

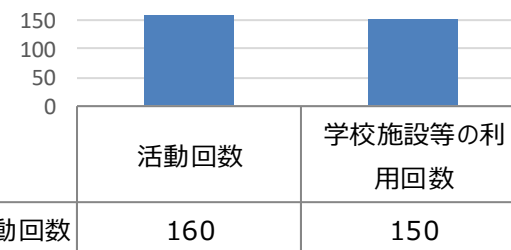
また、地域クラブ活動の拠点となる学校体育施設において、利用しやすい環境を整えると同時に、学校のセキュリティ面に関することを協議し、安全かつ効率的に利用できる仕組みを検討する。

学校施設等の利用回数



全体

(学校施設等利用率93.8%)



### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和5年度に開始した「柔道」「軟式野球」「陸上競技」の休日の地域クラブ活動を継続するとともに、新たに「バレーボール」「剣道」「ソフトテニス」の3競技を開始した。

三条市スポーツ協会、首長部局である健康づくり課スポーツ振興室との定期ミーティングを通して、地域クラブ活動の課題等の検証及び今後の方針等の協議を行うことで、適切に事業推進を図ることができた。

一方で「三条市中学生の地域クラブ活動推進委員会」では、各々の立場から様々な意見を頂戴するとともに、進捗状況や方向感を共有し、地域クラブ活動の在り方について検討することができた。

これからも指導者確保は大きな課題となってくる。各競技団体や兼職兼業教職員に過度な負担が掛からないよう、適正な活動計画による指導員配置が必要となっている。

また、事業啓発の一環として「地域クラブ通信」を作成し、市のメール配信システムやHP等を活用し、保護者等への事業周知を行った。

#### ●成果の評価

令和5年度に策定した「中学校の部活動の地域移行に関する推進計画」に基づき、概ね計画通りに事業を進めることができた。

各コーディネーターを配置したことで、関係団体との連携がスムーズになり、相互連携することができている。また、定期ミーティングにおける課題の洗い出し、改善すべき点を明確化できたことにより、地域クラブ活動の基盤作りに繋がった。

また、「三条市中学生の地域クラブ活動推進委員会」において、回を重ねる毎に各委員からの意見が活発に出されるようになってきており、今後より一層の幅広い意見を期待できる場となってきている。

#### ●今後に向けて

令和7年度は「バスケットボール」「サッカー」「卓球」の休日の地域クラブ活動を開始する予定となっているため、関係団体と協議を進めていく。

既存の6種目についても、地域クラブの運営・管理及び活動内容等の更なる協議を進め、安定した運営体制等の確立を図る。

また、令和8年度以降の受益者負担額や大会参加の在り方などについても「三条市中学生の地域クラブ活動推進委員会」で意見を募りながら検討していく。

引き続き、関係団体等から理解と協力をいただき、実情に応じた柔軟な取組を推進していく。

# 2.実証内容と成果②

## アンケート結果・広報資料

三条市内の小中学生、義務教育学校生とその保護者、教職員に向けた「地域クラブ活動通信」を発行

部活動地域移行の情報をお知らせします。  
【地域クラブ活動通信 (vol.1)】

**中学校の部活動は、段階的に「地域クラブ活動」に移行します！**

令和6年6月25日  
発行 三条市教育委員会  
学校教育課  
TEL:0256-45-1112  
FAX:0256-45-5309

### ～三条市 中学校の部活動の地域クラブ活動への移行に関する 基本方針～

少子化の中でも将来にわたり、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保することを目指し、地域での多様な体験や様々な世代との豊かな交流等を通じた学びなどの新しい価値が創出されるよう、環境整備を進めます。

#### 部活動の地域移行は、次の4点から取り組みます。

- ・持続可能な運営体制を構築し、その活動場所と指導者を確保すること。
- ・専門的で質の高い指導を提供するとともに、勝利至上主義等に陥ることがないこと。
- ・スポーツ・文化芸術の多様な活動から生徒が自由に選択できる環境を整備すること。
- ・現在の学校部活動をそのまま地域で実施するのではなく、地域で新たな活動環境を整備すること。



- ◆学校単位で行われてきたこれまでの部活動から、地域が中心となって運営する「地域クラブ活動」へ段階的に移行します。
- ◆市内の異なる学校・学年の生徒と一緒に、希望するスポーツ・文化芸術活動に取り組むことができる環境を順次整えます。
- ◆学校の部活動と異なる種目の地域クラブ活動を選ぶことができます。
- ◆原則、地域クラブ活動を行う日は当該種目の部活動は行いません。

#### ◆目指す段階的移行スケジュール

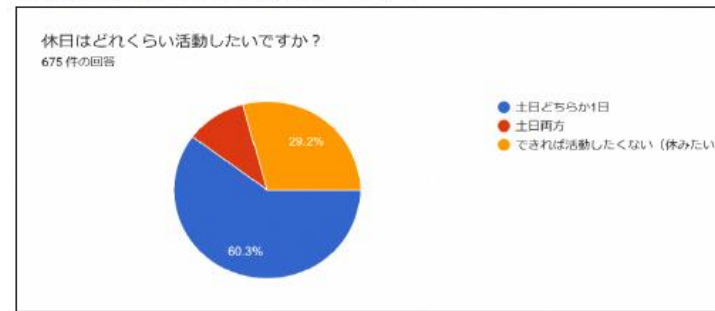
Phase1 (R5～7年度)	Phase2 (R8～10年度)	Phase3 (R11年度)
平日(部活動) 休日(部活動・地域クラブ活動)	平日(部活動・地域クラブ活動) 休日(地域クラブ活動)	休日・平日(地域クラブ活動)
◆休日に月2回程度の地域クラブ活動を実施。 ◆段階的に実施種目を増やす。 ◆吹奏系は部活動に指導者を派遣する。	◆令和8年度から休日の部活動の完全停止を目指す。 ◆学校の部活動は平日のみ行われ、休日は地域クラブ活動を行う。 ◆平日の地域クラブ活動の環境を整えていく。	◆部活動を完全に停止し、平日・休日ともに、地域クラブ活動とすることを目標とする。

※Phase1～3については、国の方針等に変化する場合があります。期間は目安となります。

【地域クラブ活動 広報誌】

三条市内の児童生徒の志向性等を調査するため、小学校5・6年生と中学校1・2年生を対象にアンケートを実施

### Q10休日はどれくらい活動したいですか？



- 土日どちらか1日→60.3% (407名)
- できれば活動したくない(休みたい)→29.2% (197名)
- 土日両方→10.5% (71)

### Q11もし活動する場合、休日はどれくらいの時間活動したいですか？



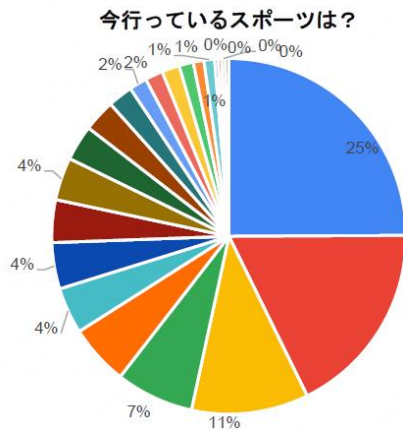
【アンケート結果 (一部抜粋)】

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果（一部抜粋）

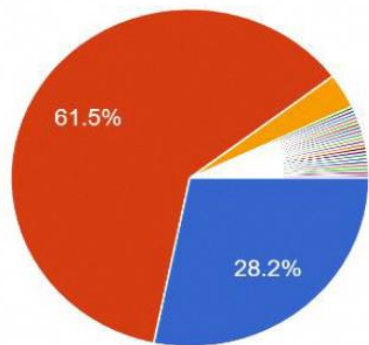
#### ●アンケート結果（小5・6）

Q.今行っているスポーツは？



- ・サッカー→25% (77名)
- ・バスケット→18% (55名)
- ・野球→11% (33名)
- ・バレー→7% (22名)
- ・水泳→6% (17名)
- ・ドッチボール→4% (13名)
- ・陸上→4% (13名)
- ・バドミントン→4% (12名)
- ・空手→4% (12名)
- ・柔道→3% (10名)
- ・ダンス→3% (9名)
- ・ソフトテニス→2% (7名)
- ・ラグビー→2% (5名)
- ・体操→2% (5名)
- ・硬式テニス→2% (5名)
- ・チアダンス→1% (4名)
- ・卓球→1% (3名)
- ・剣道→1% (3名)
- ・銃剣道→0% (1名)
- ・スケートボード→0% (1名)
- ・キックボクシング→0% (1名)
- ・りんぐる→0% (1名)

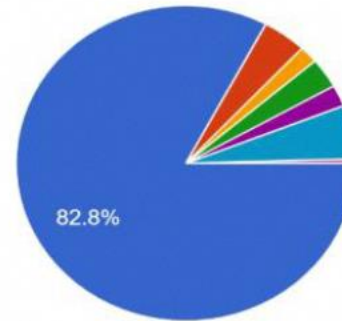
Q.「行っている」と答えた人は、スポーツを行っている理由を教えてください。



- 試合で勝ちたい、大会等で良い成績を...
- 友達と楽しく活動したい、友達が増え...
- 特にない、なんとなく
- 試合に勝ちたいし、楽しくやりたい
- 本人がしたいと言ったから。
- かっこ良く見たいから
- 体を動かして賣いたいため
- バレーが好きだから

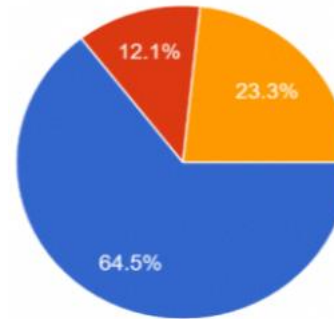
#### ●アンケート結果（中1・2）

Q.平日の活動時間の希望は？



- 16:30~18:30
- 17:00~19:00
- 17:30~19:30
- 18:00~20:00
- 18:30~20:30
- 19:00~21:00
- それ以降

Q.休日はどれくらい活動したいですか？



- 土日どちらか1日
- 土日両方
- できれば活動したくない（休みたい）

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【地域クラブ活動（剣道）】



【地域クラブ活動（バレーボール男子）】



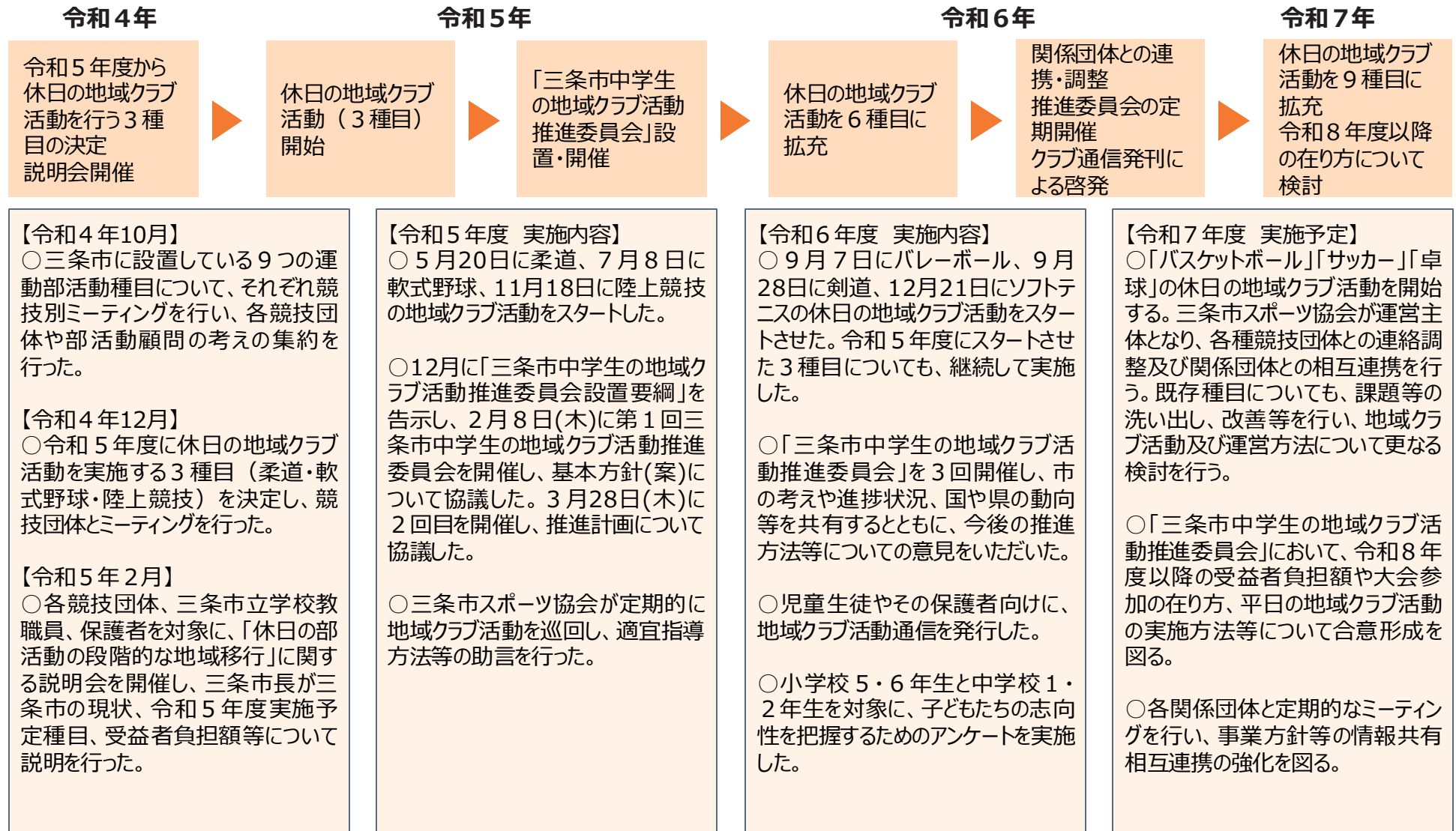
【地域クラブ活動（バレーボール女子）】



【第3回三条市中学生の地域クラブ活動推進委員会】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



# 3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)
休日の地域クラブ活動	<p>柔道、軟式野球、陸上競技</p> <p>剣道、バレーボール、ソフトテニス</p> <p>卓球、サッカー、バスケットボール</p>			
平日の地域クラブ活動	<p>実施方法等について、各関係団体とのミーティングや推進委員会等で検討</p>			
三条市教育委員会	<p>基本方針・推進計画の策定 推進委員会の設置・開催 休日の地域クラブ活動開始</p>	<p>推進委員会（年4回）の開催 休日の地域クラブ活動の実施種目を段階的に増やす 平日の活動の在り方について協議</p>		<p>休日の部活動の完全停止 (中体連大会後～)</p>
大会参加の在り方	<p>部活動での参加を原則とする</p>			<p>体制が整った種目から地域クラブで参加</p>
基本方針推進計画	<p>基本方針・推進計画策定</p>	<p>必要に応じて基本方針・推進計画の見直しを行う</p>		

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 新潟県 柏崎市

自治体名：新潟県柏崎市

担当課名：学校教育課

電話番号：0257-43-9132

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	442.02 km <sup>2</sup>
人口	75,574 人
公立中学校数	11 校
公立中学校生徒数	1,699 人
部活動数	64 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	設置済

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

令和3(2021)年度の6月から推進会議を立ち上げ、検討してきた。当面は、現在学校に設置されている部活動の休日の活動を確保するための体制整備を進める方針を固めた。試行として7競技が単発の実施ではなく年間を通して30~40回実施している。

小学校及び中学校保護者アンケートから令和8(2026)年度の本格実施以降、「参加経費はすべて受益者負担になること」や「ケガや事故が発生した時の対応や補償のため、学校とは別に保険への加入が必要となること」などへの周知が徹底できていないことが明確となり、今後、

丁寧な説明が必要である。また、小学校保護者の休日の地域クラブに対しては、「専門的な指導者から指導が受けられる」ことや「学校の部活動の枠をこえて、他校生徒との交流ができる」ことなどが期待する内容として挙がっており、今後も成果を上げていく必要がある。

8. 令和8年度から休日の部活動の地域移行が本格実施になります。そのことについて、知っていることをすべて選択してください。(複数回答可)



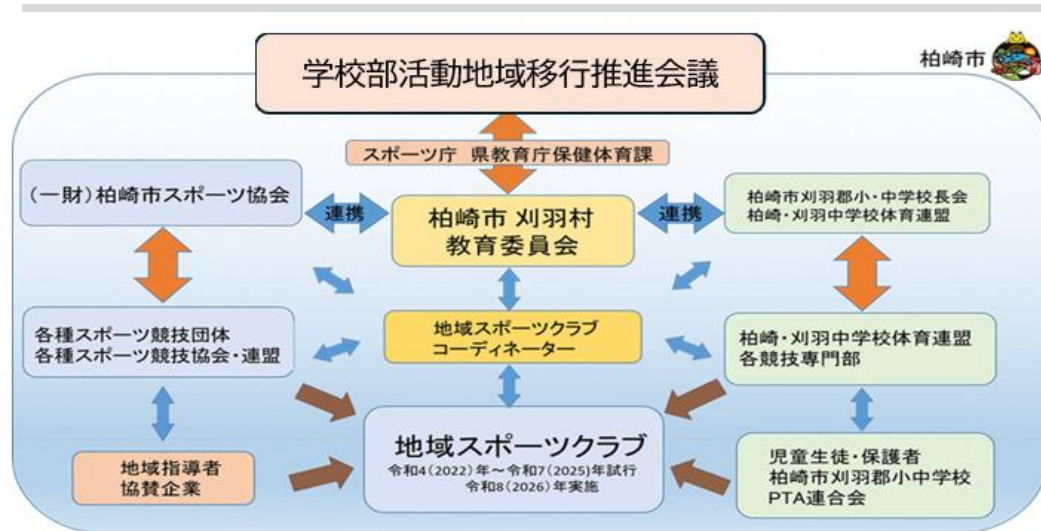
10. 今後、休日の部活動が地域に移行されることで、休日の「地域クラブ」に期待することは何ですか？(複数回答可)



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

・休日の部活動地域移行推進会議の開催、スポーツ協会、各競技団体、各学校との連携事業の総括

##### ◎首長部局

・試行期間中の財政支援対策 指導者確保や指導者が指導しやすい環境づくりの対応

### 年間の事業スケジュール

令和6年4月	・地域スポーツクラブ活動開始
令和6年5月	・部活動顧問研修会 兼 部活動指導員研修会の開催
令和6年6月	・第1回学校部活動地域移行推進会議
令和6年7月	・休日における部活動の地域移行研修会・懇親会
令和6年9月	・中学校生徒、保護者、教職員アンケート実施 ・小学校5, 6年生児童、保護者、教職員アンケート実施
令和6年10月	・指導者前期実績報告
令和6年11月	・第2回学校部活動地域移行推進会議
令和6年12月	・市P連研修会にて進捗状況を説明
令和7年1月	・新入生説明会における来年度の地域クラブの説明
令和7年2月	・指導者後期実績報告 ・R7年度地域クラブ参加申込
令和7年3月	・第3回学校部活動地域移行推進会議 ・地域スポーツクラブ活動終了

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	11校	実施した地域クラブ総数	18クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		18クラブ（48部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	64人	全体の運営スタッフ数	64人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 <small>※新規のものは末尾に（新）を付ける</small>	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
陸上競技地域クラブ	地域クラブ	陸上競技	月31回／ 週1回	9:00～ 12:00	3年:82人 1,2年:156人	4月～3月	柏崎市陸上競技場	19人	0人	月会費 0円 年会費 0円 (など)	中体連：部活動 その他：部活動
軟式野球地域クラブ	地域クラブ	軟式野球	月35回／ 週×1回（	9:00～ 12:00	3年:21人 1,2年:75人	4月～3月	拠点校グラウンド	6人	0人	月会費 0円 年会費 0円 (など)	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
サッカー地域クラブ	地域クラブ	サッカー	月35回／ 週×1回（	9:00～ 12:00	3年:1人 1,2年:8人	5月～3月	鏡が沖中学校グラウンド	9人	0人	月会費 0円 年会費 0円 (など)	例) 中体連：部活動 その他：部活動
ソフトテニス地域クラブ	地域クラブ	ソフトテニス	月40回／ 週×1回（	9:00～ 12:00	3年:88人 1,2年:160人	4月～2月	拠点校グラウンド	9人	0人	月会費 0円 年会費 0円 (など)	中体連：部活動 その他：部活動

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	11 校	実施した地域クラブ総数	18 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		18 クラブ（48 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	64 人	全体の運営スタッフ数	64 人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 <small>※新規のものは末尾に（新）を付ける</small>	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
バスケットボール地域クラブ	地域クラブ	バスケットボール	月 35 回／ 週 × 1 回 (	9 : 00 ~ 12 : 00	3年:10人 1,2年:16人	4月～3月	拠点校体育館	8 人	0 人	月会費 0円 年会費 0円 (など)	中体連：部活動 その他：部活動
バレーボール地域クラブ	地域クラブ	バレーボール	月 35 回／ 週 × 1 回 (	9 : 00 ~ 12 : 00	3年:0人 1,2年:15人	4月～3月	拠点校体育館	3 人	0 人	月会費 0円 年会費 0円 (など)	中体連：部活動 その他：部活動
剣道地域クラブ	地域クラブ	剣道	月 40 回／ 週 × 1 回 (	9 : 00 ~ 12 : 00	3年:0人 1,2年:5人	4月～3月	松浜中学校 荒浜コミセン	2 人	0 人	月会費 0円 年会費 0円 (など)	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 特になし

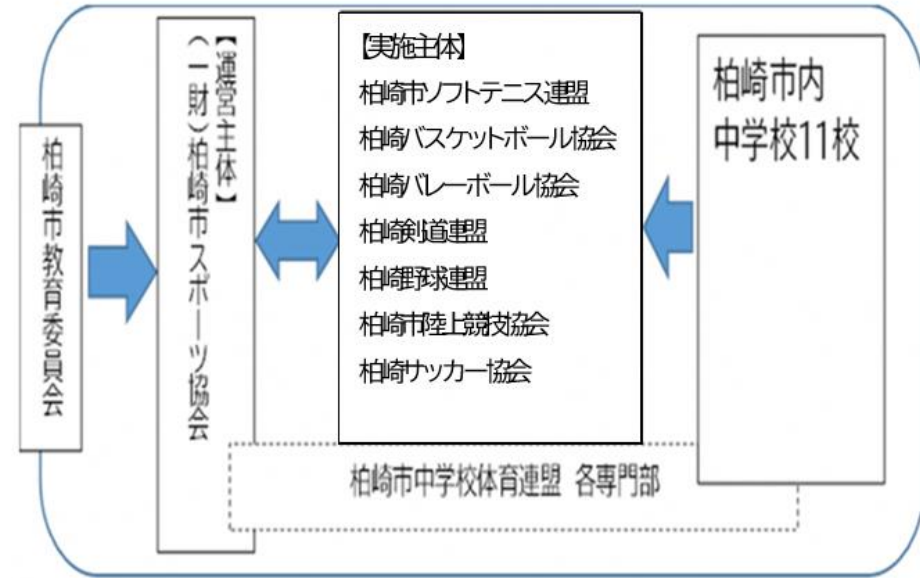
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●陸上競技地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技
運営団体名	柏刈陸上競技地域クラブ
期間と日数	4月13日～3月16日 毎週土曜日または日曜日と祝日 年間31回
指導者の主な属性	柏崎市陸上協会が派遣する指導者・教職員 部活動指導員
活動場所	柏崎市陸上競技場
主な移動手段	自転車・保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	必要時徴収
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者  
役割：教育委員会、市スポーツ協会との連携・調整を行う
- 主任指導者 2名  
役割：指導者のとりまとめ及び指導内容の指示を行う
- 運営補助者 1名  
役割：練習場所の確保等運営の補助を行う

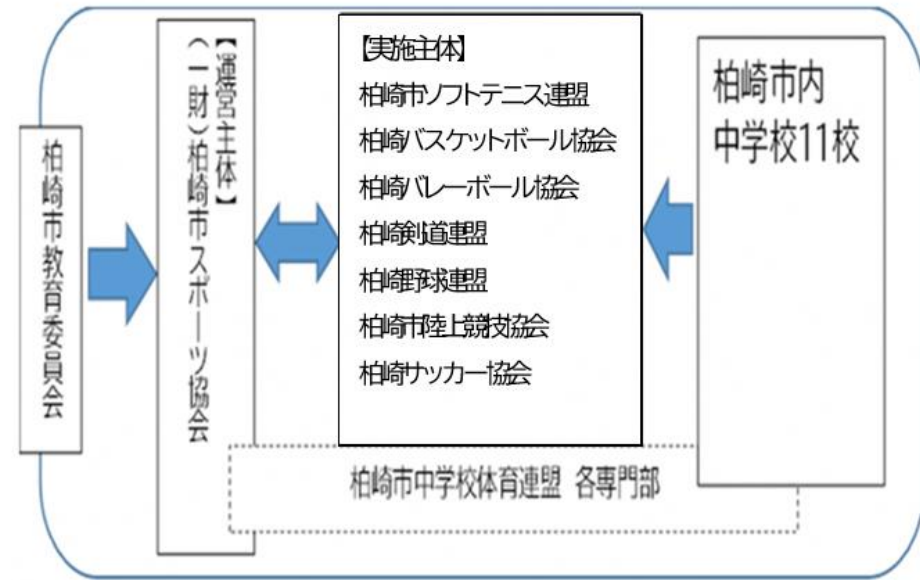
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ● 軟式野球地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球
運営団体名	柏刈軟式野球地域クラブ
期間と日数	4月13日～3月20日 毎週土曜日または日曜日と祝日 年間35回
指導者の主な属性	柏崎野球連盟が派遣する指導者・教職員 部活動指導員
活動場所	拠点校グラウンド
主な移動手段	自転車・保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	必要時徴収
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者  
役割：教育委員会、市スポーツ協会との連携・調整を行う
- 主任指導者 3名  
役割：指導者のとりまとめ及び指導内容の指示を行う
- 運営補助者 1名  
役割：練習場所の確保等運営の補助を行う

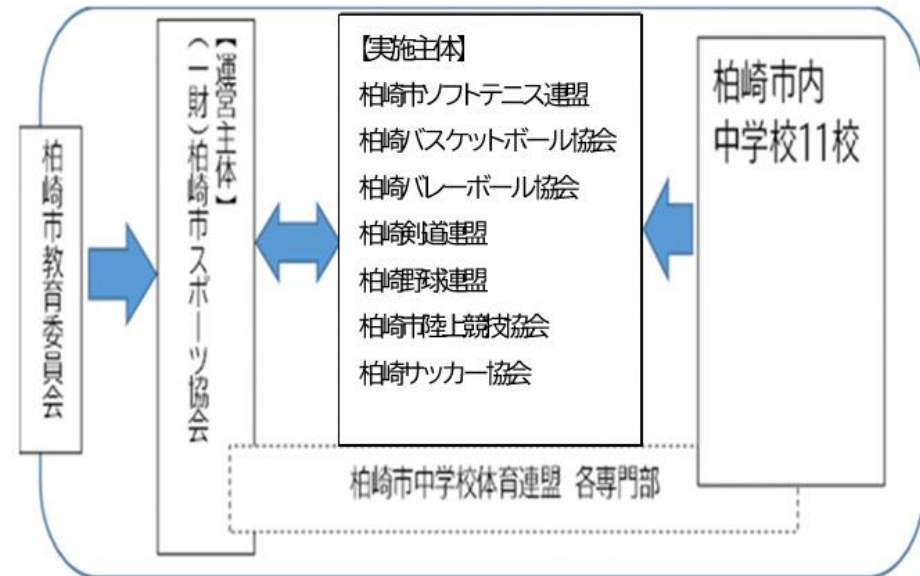
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ● サッカー地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー
運営団体名	柏刈サッカー地域クラブ
期間と日数	5月11日～3月15日 毎週土曜日または日曜日と祝日 年間35回
指導者の主な属性	柏崎サッカー協会が派遣する指導者・教職員
活動場所	鏡が沖中学校グラウンド
主な移動手段	自転車・保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	必要時徴収
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者
  - 役割：教育委員会、市スポーツ協会との連携・調整を行う
- 主任指導者 2名
  - 役割：指導者のとりまとめ及び指導内容の指示を行う
- 運営補助者 1名
  - 役割：練習場所の確保等運営の補助を行う

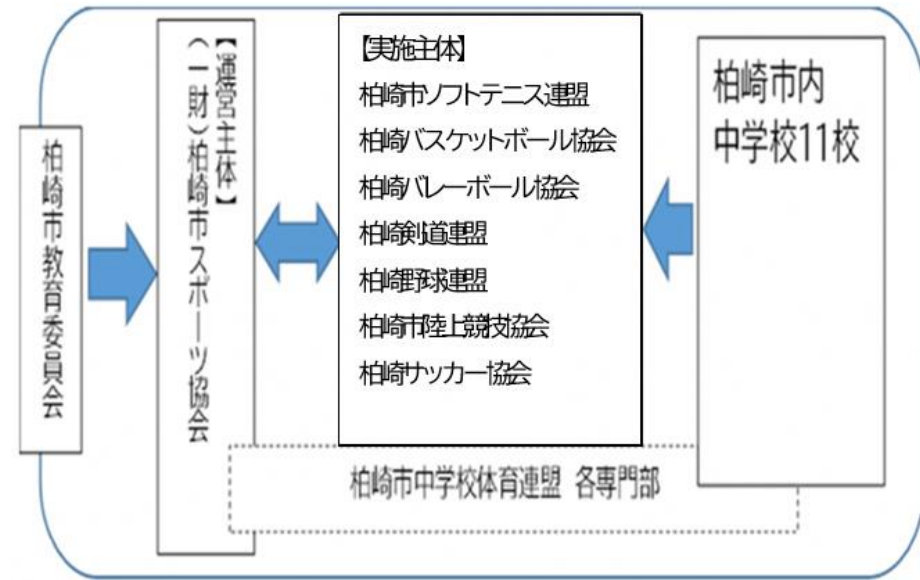
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●ソフトテニス地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス
運営団体名	柏刈ソフトテニス地域クラブ
期間と日数	4月20日～2月24日 毎週土曜日または日曜日と祝日 年間40回
指導者の主な属性	柏崎市ソフトテニス連盟が派遣する指導者・教職員 部活動指導員
活動場所	各中学校
主な移動手段	自転車・保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	必要時徴収
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者  
役割：教育委員会、市スポーツ協会との連携・調整を行う
- 主任指導者 6名  
役割：指導者のとりまとめ及び指導内容の指示を行う
- 運営補助者 1名  
役割：練習場所の確保等運営の補助を行う

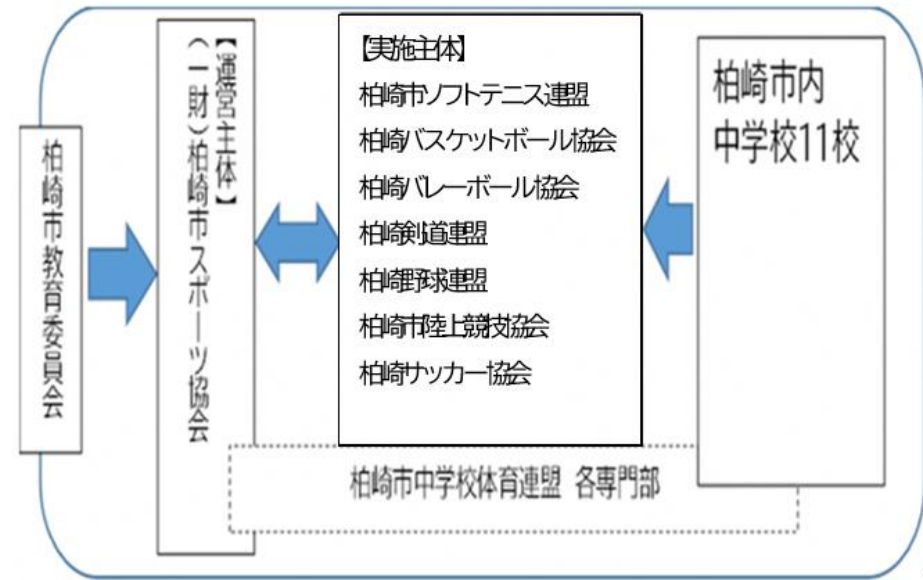
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●バスケットボール地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール
運営団体名	柏刈バスケットボール地域クラブ
期間と日数	4月13日～3月20日 毎週土曜日または日曜日と祝日 年間35回
指導者の主な属性	柏崎市バスケットボール協会が派遣する 指導者・教職員 部活動指導員
活動場所	各中学校
主な移動手段	自転車・保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	必要時徴収
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者  
役割：教育委員会、市スポーツ協会との連携・調整を行う
- 主任指導者 6名  
役割：指導者のとりまとめ及び指導内容の指示を行う
- 運営補助者 1名  
役割：練習場所の確保等運営の補助を行う

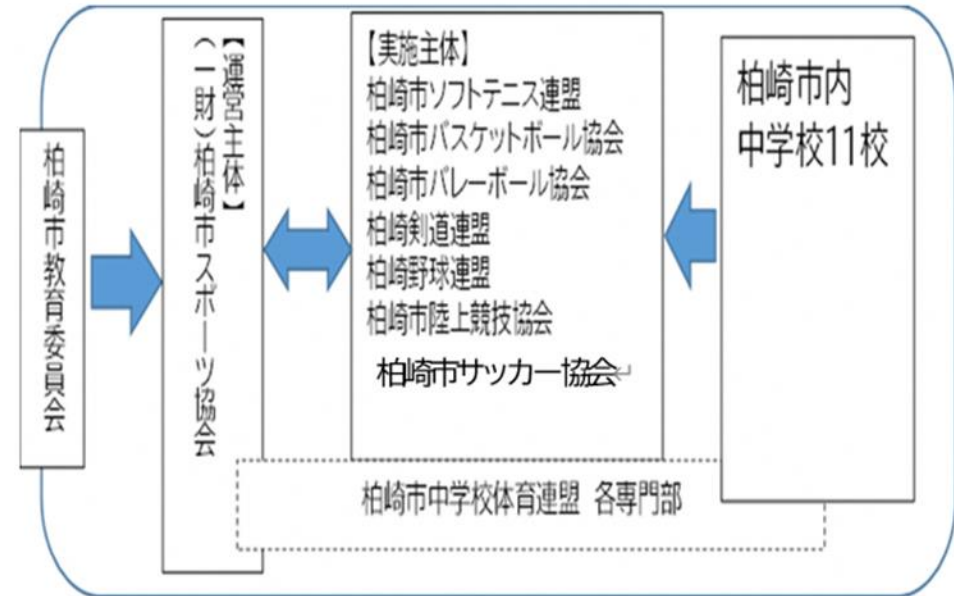
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ● バレーボール地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール
運営団体名	柏刈バレーボール地域クラブ
期間と日数	6月29日～3月15日 毎週土曜日または日曜日と祝日 年間35回
指導者の主な属性	柏崎市バレーボール協会が派遣する指導者・教職員 部活動指導員
活動場所	拠点校体育館
主な移動手段	自転車・保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	必要時徴収
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ● 運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



#### ● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

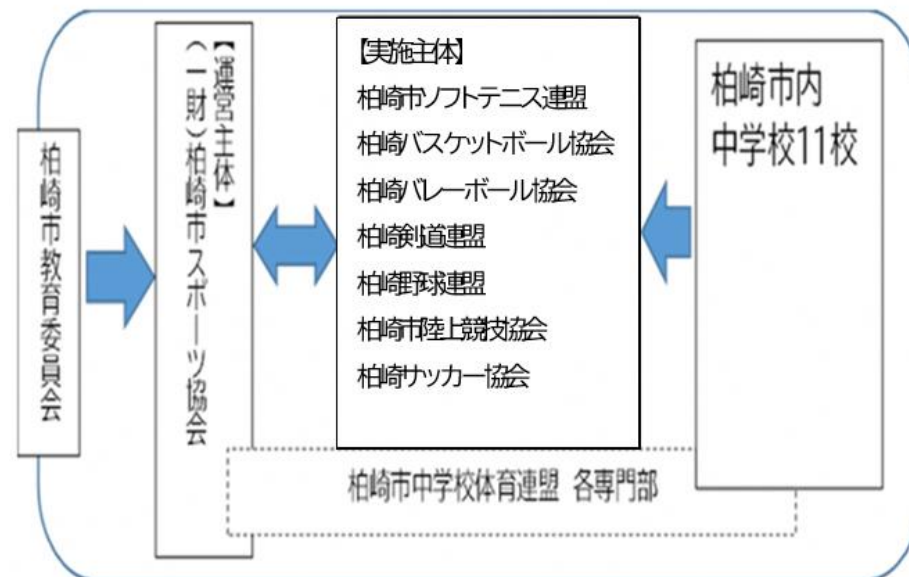
- 統括責任者  
役割：教育委員会、市スポーツ協会との連携・調整を行う
- 主任指導者 2名  
役割：指導者のとりまとめ及び指導内容の指示を行う
- 運営補助者 1名  
役割：練習場所の確保等運営の補助を行う

## 主な取組例

### ● 剣道地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道
運営団体名	柏刈剣道地域クラブ
期間と日数	4月13日～3月20日 毎週土曜日または日曜日と祝日 年間40回
指導者の主な属性	柏崎剣道連盟が派遣する指導者 部活動指導員
活動場所	松浜中学校体育館 荒浜コミュニティセンター
主な移動手段	自転車・保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	必要時徴収
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者
  - 役割：教育委員会、市スポーツ協会との連携・調整を行う
- 主任指導者 1名
  - 役割：指導者のとりまとめ及び指導内容の指示を行う
- 運営補助者 1名
  - 役割：練習場所の確保等運営の補助を行う

## 2.実証内容と成果

### ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- ・教育委員会担当者と総括コーディネーターの連携を図り、関係団体との組織的な運営を行う。
- ・運営主体となる各競技団体が、持続可能な運営形態で実施できるよう指導、助言を行いながら推進する。

##### 取組の成果

顧問及び指導者で連携を取り合い、連絡調整を図っている。欠席、遅刻、移動中の事故、ケガの連絡、また急な日程や会場変更、中止等の連絡においても、顧問を通さず、連絡が可能で体制を整えている。

指導者が保護者会代表者に連絡し、その後代表者を通じて、全保護者に情報が伝えられるような連絡体制を全種目で整えることができ、活動することができた。

令和6年度「休日の部活動の地域展開」の打ち合わせ会議録

19回：2月3日（月）時間：10時半～ 会場：武道館 会議室  
○矢島・佐藤幸・柴野・佐藤敬

1 報告

- 県スポ研修会報告 1月24日（金）・・・別紙資料より  
※全国の研修会を新潟県で開催した。新潟県は、他県より進んでいるので、グループ対談では、質問が多かった。報道も多かった。
- 指導者への後期実績報告 締切2月4日（火）  
※事業の期間：4月から2月  
謝金の支給：2月25日支給予定  
（3月分の謝金は、スポーツ協会から支出）
- 令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業  
・2月28日（金）必着  
※2月14日を目標に、補助金の変更をまとめる。  
「委託契約変更申請」R6,12,25  
・委託決定額：2,470,666円  
・変更額：1,532,758円

2 市教委から

- 第3回 2月7日（金）18:00～ 市役所  
※別資料で説明する。R7,11月予定の説明会時には、市財務課の職員から年末調整等の説明をしてもらった方がよい。

3 今後の動き

- 令和7年度実施計画書の作成-2月中に中体連専門部副部長との面談を実施
- 推進計画作成と学校等への周知と発送

4 その他

- R6年度地域クラブ指導者の代表に、学校体育館の鍵の貸し出しをしたが、年度末に回収する。令和7年度は、学校開放のルールに則り、ガキ管理者の所での貸し出しとなる。

【次 回】第20回打ち合わせ 2月17日（月）10時半から 会場：武道館  
【次々回】第21回打ち合わせ 3月3日（月）10時半から 会場：武道館  
【最終回】第22回打ち合わせ 3月24日（月）10時半から 会場：武道館

### コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・実際の地域クラブ活動の視察及び指導・助言
- ・教育委員会担当者との定期的な情報交換
- ・推進会議における指導・助言
- ・各協会・連盟への連絡・調整

### 今後の課題と対応方針

- ・試行を通して休日の地域クラブの骨格は見えてきている。今後は、生徒や児童、保護者が抱える不安や疑問への具体的な対応策を講じ、説明と理解を求める取組を行う。
- ・推進方針の配付、ホームページ掲載や参加費の具体的な検討、実施主体の業務の明確化を進める。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

### イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

・柏崎市スポーツ協会が実施する公認スポーツ指導者講習（年5回開催）を受講し、指導者認定を受けることにより指導者の資質向上、信頼される指導者育成を図る。

・長期的な視野に立って、指導者の資格取得等の育成を図る。

##### 人材バンクの人数

127名

##### 人材バンクの年齢構成

10代	1名
20代	10名
30代	13名
40代	22名
50代	35名
60代以上	46名

##### 登録者属性

（一財）柏崎市スポーツ協会に、加盟している団体（協会・連盟）の推薦を受け、当協会の指導者バンクへ登録している。

##### 種目

陸上：	19人
野球：	6人
バスケットボール：	7人
サッカー：	8人
バレーボール：	3人
ソフトテニス：	8人
剣道：	2人

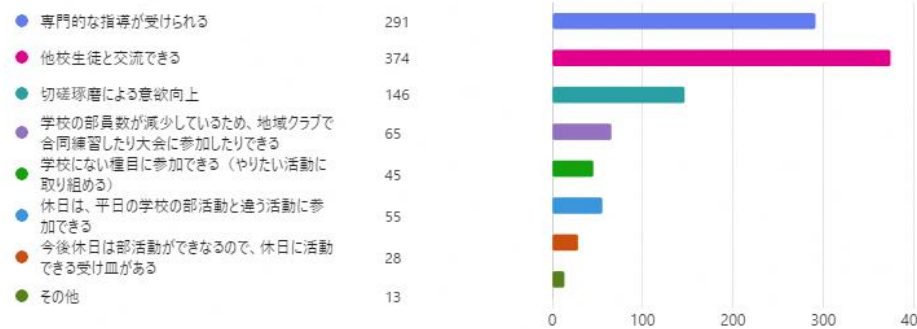
##### 資格有無

柏崎市独自の公認スポーツ指導者制度を運用している。  
また、各競技団体実施のライセンス取得者は、当協会指導者制度に登録されている。

##### 取組の成果

・各競技団体から推薦された指導者がスポーツ協会の指導者バンクに登録する体制をこれまでも維持してきている。その成果の一つとして、令和6年度中学1～3年生1,498人へのアンケートでは、84.5%の生徒が「とても満足」「おおむね満足」と回答した。その理由として、「専門的な指導が受けられるから」と回答した生徒が、2番目に多かった。今後もさらに指導者の質・量ともに確保し、向上させていくことで生徒のニーズに応えられると考える。

10.「とても満足している」「おおむね満足している」を選んだ人は、その理由を選んでください。（複数回答可）  
※3年生は、この質問が最後です。



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の内容

○指導者の資質向上を目的とし、年間5回の指導者講習会を実施している。テーマは、「選手育成の大切なポイント」「スポーツ選手の食事管理と栄養補給」「コンプライアンス」「スポーツ障害の予防」「スポーツ指導に関する心理学」である。

指導者バンク登録者は、年2講座以上の講習会を受講することで、資格（柏崎市独自の）を更新することができる。

##### 指導者研修の参加実績

「選手育成の大切なポイント」

・開催日： 5月18日（土） ・参加人数： 16人

「スポーツ選手の食事管理と栄養補給」

・開催日： 6月7日（金） ・参加人数： 37人

「コンプライアンス」

・開催日： 7月5日（金） ・参加人数： 38人

「スポーツ障害の予防」

・開催日： 11月22日（金） ・参加人数： 38人

「スポーツ指導に関する心理学」

・開催日： 12月7日（土） ・参加人数： 34人

##### 受講者の声

- 質の高い指導者講習会を地元の会場で、無料で受講できることは、大変ありがたい。
- 指導者として必要な内容を講習会で学べるので、指導者として自信がついた。
- 柏崎市独自の公認指導者制度ではあるが、資格を有することで、自信をもって指導することができるとともに、選手や保護者の信頼を得ることができた。
- 選手がけがをしてしまう原因やその理由が理解できた。また、けがの予防のためには、ストレッチや正しい姿勢が大切であり、習慣化することの重要性をあらためて感じた。
- 改めて、日々、成長期の選手へ、適切な指導をする大切さを学んだ。

##### 今後の課題と対応方針

- ・多忙な講師との連絡調整がなかなか難しい。
- ・平日開催か、土日開催かの日程調整と会場確保が難しい。
- ・開催時期を年間を通して実施するか、オフシーズンに集中するかが課題である。
- ・更新制度の継続方法を再度検討する必要がある。
- ・講習会の内容を工夫する必要がある。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

#### 取組事項

- ・市の施設を設置・監督する施設係や実際に運営している公益財団法人かしわざき振興財団（指定管理者）と連携した、施設利用や各種教室との連携を視野に推進する。
- ・関係団体と定期的に会議を開き、情報交換を密に行ってきた。

#### 取組の成果

- ・教育委員会、スポーツ協会、各競技団体との連携維持、強化を図った。
- ・指導者確保や指導者が働きやすい環境づくりのため、企業との連携を図ったが今後も働きかけが必要である。
- ・市PTA連合会や報道機関と連携し、地域クラブの理解を深めてきた。

令和7年1月30日 NO.378号  
発行：柏崎市小中学校PTA連合会事務局  
住所：柏崎市学校町1番88号  
電話・FAX：0257-23-0350  
E-mail：kashiwazaki\_pta@wsh.ocn.ne.jp  
(事務局だよりの配布は、各校の副会長・校長・PTA総  
括者・学校長・市PTA連合会にお願ひします)

### 事務局だより

#### 「休日の部活動の地域移行」についての回答

昨年12月2日（月）の第2回単P情報交換会で、柏崎市教育委員会様から「休日の部活動の地域移行」について、説明がありました。参加いただいた各校のPTA役員の皆様から、感想用紙に質問や意見等を書いていただきました。市PTA事務局で質問や意見等をまとめ、柏崎市教育委員会様に送らせていただきました。以下の質問や意見等について、柏崎市教育委員会様より、12月中旬に回答が届きましたので、紹介いたします。

**<質問>**

- ・保護者の送迎ありきになると、保護者の時間やお金に余裕のある家庭しか活動できなくなるのではないのか？
- ・「土日の体育館、グラウンドについて」地域のクラブが使わない場合、どう使い方になるのか？クラブチームが使うのか？教えてほしい。
- ・R7 末まで休日のみ地域クラブと書いてあるスライドがありましたが、R8以降もなのは？
- ・学校と地域との連携が大切だと感じました。試合でのアドバイス、指導等はどうなるのですか？
- ・市教委が本当に児童生徒のことを考えた結論を出しているのか？大人の為に子どもが犠牲になっていないか？
- ・送迎について、8年度以降はスクールバスも無しになるのか？

**<意見>**

- ・ゆるく活動するスポーツ体験部のようなものがあると良い。
- ・「部活の仲間」という概念が減ってしまうのは残念ですが、たくさん仲間が増えていくのは良いかなと思いました。
- ・部活をやらなくて家でゲームをする子どもが増えてしまう気がする。
- ・学校の部活動の質の低下が心配そう。
- ・「なぜ、土日に部活をするのがダメなのか」の回答が「国の方針に基づいた」とのこと。地域クラブは反対ではないが、「国の方針」の部分が不明である。

**<要望>**

- ・子ども達がのびのびと活動することができ、コーチングして下さる方にもしほりがありすぎるのがないようお願いします。
- ・保護者と児童への周知を行い、理解活動を頑張ってください。
- ・選択できる活動が常に分かるようになっていただくと嬉しいです。
- ・休日だけでなく、平日も地域移行を進めてほしい。
- ・分かりやすい資料を対象世帯に配布してほしい。
- ・学校における部活動と休日の指導者による部活動のねらいが完全に一致せず、齟齬になる部分

#### バス等の運行実績

- ・日数 0日
- ・利用者数 0人
- ・運行経路 なし

#### バス等の運航経費・収入

- ・人件費 0円
- ・利用料 0円

#### 今後の課題と対応方針

- ・これまでの連携を推進する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

・刈羽村と足並みをそろえた地域スポーツクラブ活動を推進する。

##### 各自治体の役割

・部活動の教育的意義を継承しつつ、生徒が多様なスポーツ活動を通し、社会性や人間性を育む場を創出する。

##### 移動手段

・練習会場までの移動は生徒各自（保護者送迎）とする。

##### 事務局運営の方法

・教育委員会とスポーツ協会が連携して行う。

##### 取組の成果

・刈羽村教育委員会と連携しながら、柏崎市・刈羽村で部活動の地域移行を進めている。  
・柏崎市内にある新潟産業大学との連携についても協議を行った。現時点では、具体的な動きには結びついてはいないが、今後も必要に応じて情報交換を行う予定である。

##### 今後の課題と対応方針

・今後もさらに、刈羽村と足並みをそろえた地域スポーツクラブ活動を推進する。  
・地元商工会議所・企業との連携を模索する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組の成果

- ・当面は、学校設置の部活動の地域移行を進める。
- ・市内全中学生の40%が、現在学校に設置されている種目の地域クラブに参加している。また、その内80%の生徒は地域クラブの活動に毎回参加している状況にあるとともに、84.5%がその活動に満足していると回答しており、学校に設置されている種目から地域移行を進める方向性は、成果を上げていると捉えている。
- ・将来的には複数種目の参加や学校部活動にない種目の設置などを検討していく必要性を感じているが、現段階ではその動きはない。

12. 今後の地域クラブに、取り入れてほしいスポーツ種目や文化芸術はありますか？  
学校の部活動以外のスポーツ・文化芸術などで入力してください。（例：ダンス、スポーツクライミング、演劇、書道など）

828  
応答

最新の回答  
"ない"  
"ない"

更新

97回答者 (12%) この質問に ダンス回答しました。

吹奏楽 男子バレー 水泳 Eスポーツ  
合唱 サッカー ダンス 弓道 バドミント  
クライミング 美術 書道 剣  
卓球 茶道 演劇 スポー  
ゴルフ 野球 ア

##### 今後の課題と対応方針

- ・試行実施競技は令和8（2026）年度の本格実施を視野に、運営主体を中心に活動を継続していく。
- ・競技団体が令和8年度以降、持続可能な団体としてどのように活動していけるか、具体的な取組を考えていくことが今後の課題である。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

・本格実施以降は、受益者負担となることを周知している。  
・負担ができるだけ安価となるよう、また、生活困窮家庭への支援ができるよう市としての予算確保を財政と協議していく。

##### 地域クラブに係る経費

##### ■イニシャルコストの分析

・地域クラブのスタートに当たっては、保護者負担がなるべく少なく済むよう、施設・設備の借用や用具の使用について検討する。

##### ■ランニングコストの分析

・指導者謝金や消耗品費は原則保護者負担とする。就学援助家庭への支援は今後検討する。

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

・各地域クラブにおいて指導者の人数を確定し、消耗品費の額と合わせて月会費を示す予定。  
・来年度、地域クラブの代表者に対して、地域クラブの本格的な立ち上げに関する打ち合わせを行う。その中で、今年度の参加人数をおおよその目安とし、地域クラブの運営に必要な経費を算出し、会費について検討していく。  
・来年度の秋頃には、小6，中1，中2に対して地域クラブ参加の意向調査を実施し、より正確な受益者負担額を算出する予定。

##### 収支バランス

・年度ごとに収支が0に近づくようにし、決算書を示す。  
・運営主体は地域クラブであり、それぞれの地域クラブごとの会計となる。  
・本格実施後、各地域クラブが指導者を確保しつつ、保護者の過度の負担とならないよう、指導を分担するなどしながら、持続可能な運営になるよう打ち合わせを進めていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

##### 取組の成果

- ・他市町村との比較では、たいへんな安価となっているため改善を検討する。
- ・本格実施を見据えて、参加費の具体的な金額の検討を進める。また、生活困窮家庭への支援を検討している。
- ・就学支援制度の見直しも含めて協議を進めている。

親の協力、負担はどのくらい必要なのか？	地域クラブ実施会場までの送迎や参加費の負担等にご協力をお願いします。会場まではこれまでの部活動と同じように、各自が自転車で移動することもできますが、天候状況や遠方の場合は送迎をお願いします。参加費については、保険加入料（年間800円）、指導者謝金等です。総額については今後試算していきます。本格実施までにはお知らせできるようにします。
平日と休日で準備する物（ユニホーム等）が違ってくるので、お金がかかるようになるのか？	中体連のある団体種目では、ユニホームは各学校の物で構わないと規定しています。国や県のガイドラインでも親に過重な負担とならないように配慮する旨記載があります。今後大会主催者の規定も変わってくると思われます。
参加費の金銭的補助が必要。市は検討すべき。	試行期間中は、指導者の謝金や保険料について市・村の補助金と柏崎市スポーツ協会からの補助で活動しています。本格実施後は、原則地域クラブは受益者負担となりますのでご理解をいただきたいと思ます。

#### 保護者アンケートから費用に関わる質問と回答

##### 今後の課題と対応方針

- ・指導者への謝金は、本格実施までに時給制を検討していく。現行では、回数制で1回（2～3時間で）2,000円としている。
- ・令和7年度中に本格実施後の参加費の具体的な金額が提示できるようにする。このことで、保護者の不安感の払拭を図る。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

令和6（2024）年4月17日

#### 取組事項

・学校施設の利用が中心となるため、備品等の利用や鍵の管理、施設の保全について、各校の校長指導の下、施設係が具体的な方針を示していく。

#### 取組の成果

- ・指導者に各校校長指導の下、体育館や用具室の鍵を渡し、地域クラブの活動に支障がないよう体制を整えられている。
- ・また、土日の学校施設は、地域クラブが優先的に活動できるとともに、学校の備品等も活用できるようになっている。
- ・屋外運動部のトイレ、体育館の開放など、練習場所の確保に関する課題を整理している。

#### 今後の課題と対応方針

・学校施設の利用が中心となるため、備品等の利用や鍵の管理、施設の保全について、施設係や各校の校長指導の下、具体的な方針を示していく。

様

柏崎市教育委員会

令和6年度地域クラブに伴う社会体育玄関のカギの対応について（お知らせ）

生徒たちが各種スポーツに、伸び伸びと取り組める環境を整えて置いておりますことに感謝申し上げます。

さて、昨年度末懸案事項となっておりました地域クラブ指導者へのカギの貸与について教育委員会内で検討した結果、カギの管理を徹底することを条件に貸与することと決定しました。このことは、部活動指導員は教員がいなくても指導できる事、屋外スポーツに参加している生徒が、学校部活動のない日でも体育館トイレを使用できるようにする事に対応するためです。つきましては下記のようにいたしますので、よろしくお願いいたします。

記

- 1 あなたに持って頂くカギは \_\_\_\_\_ 中社会体育玄関のカギです。
- 2 準備のできた学校から連絡が入りますので、受け取り日時を打ち合わせてください。
- 3 誓約書の内容を確認し押印して頂きますので印鑑をご持参ください。

以上、よろしくお願いいたします。

誓約書内容

- 1 このカギは、地域クラブの活動に限り使用します。
- 2 活動終了後は、トイレ内を確認し社会体育玄関を施錠します。
- 3 コピーし複数人が所持する事は厳に慎みます。
- 4 年度の活動終了後、速やかに返却します。
- 5 紛失の場合は速やかに届け出てその費用は弁償します。

令和6（2024）年 月 日  
柏崎市教育委員会 様

#### 誓約書

私は、地域クラブ指導者としての自覚のもと、下記事項を遵守し学校開放玄関のカギを適正に管理することを約束します。

記

- 1 このカギは、地域クラブの活動に限り使用します。
- 2 活動終了後は、トイレ内を確認し社会体育玄関を施錠します。
- 3 コピーし複数人が所持する事は厳に慎みます。
- 4 年度の活動終了後、速やかに返却します。
- 5 紛失の場合は速やかに届け出てその費用は弁償します。

以上

種目 \_\_\_\_\_

部活動指導員・地域指導員 氏名 \_\_\_\_\_ 印

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

- ・予定通り、年度を追うごとに試行種目を増やし実施できた。学校に設置されている部活動のうち、卓球を除く種目を網羅することができた。
- ・現在、週休日については、まだ部活動としての活動が認められていることもあり、教員をはじめ、部活動指導員や地域指導者の方の尽力により、多くの種目で生徒の活動の受け皿となっている
- ・また、種目によっては本格実施に向けて、民間のクラブチームを立ち上げようとする団体も多くなることが予想される。今後、民間のクラブチームの増加に伴い、部活動に参加する生徒数の減少が考えられる。
- ・地域クラブについては、平日の部活動との兼ね合いから多くの課題が残されており、今後平日における地域展開も視野に改革を進めていく必要性を強く感じている。
- ・生徒の興味・関心の高い種目、保護者から要望のあった種目については検討する必要がある。

#### ●成果の評価

- ・地域クラブに参加している生徒の満足度は85%と高い。学校を超えた交流が生まれたことに喜びを感じている生徒が多い。
- ・保護者からの改善の要望はあるが、大きな問題には発展していない。地域の指導者が生徒に寄り添い、その集団にあった指導を行っている成果と捉えている。
- ・学校、教員側から休日、部活動に縛られない生活が送れるようになったという声が届いている。

#### ●今後に向けて

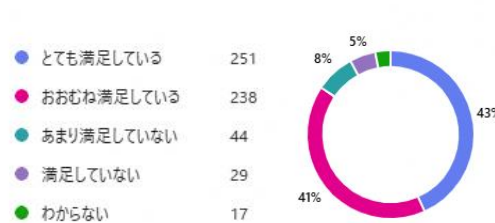
- ・令和7年度は本格実施前年となる。生徒、保護者、地域に向け丁寧な説明に努めたい。
- ・地域クラブ指導者・運営者に向け、さらに詳しい説明会をもち、本格実施に備えていく。

## アンケート結果・参加者の声

### ●アンケート結果

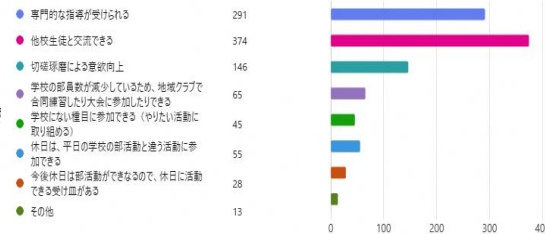
Q.あなたは休日の地域クラブに満足していますか？【中学生】

9. あなたが参加している休日の地域クラブに満足していますか？



Q.「満足している」と答えた人は、その理由を選んでください？【中学生】

10. 「とても満足している」「おおむね満足している」を選んだ人は、その理由を選んでください。（複数回答可）  
※3年生は、この質問が最後です。



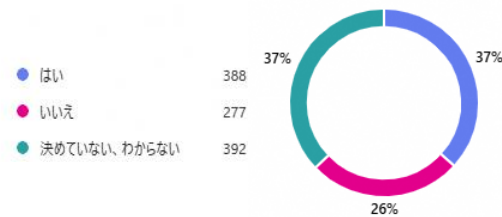
Q「満足していない」と答えた人は、その理由を選んでください？【中学生】

11. 「あまり満足していない」「満足していない」「わからない」を選んだ人は、休日の地域クラブで改善してほしいことは何ですか？（複数回答可） ※3年生は、この質問が最後です。



Q.来年度、休日の地域クラブに参加しようと思いますか？【中学生】

12. 中学校1年生、2年生だけが回答してください。3年生は回答せずに、送来年度（令和7年度）、休日の地域クラブで活動しようと思いますか？



### ●参加者の声

#### 中学生

・地域クラブでは、専門的な指導者から教えてもらうことができ、自分の技能の向上につながり、とても充実している。

#### 中学生

・いつもは自分の学校の仲間との練習だけど、休日は他校の生徒と一種に練習ができるので楽しい。他校の生徒と練習することで、やる気も出てくる。

#### 指導者

・生徒のレベルに差があり、どのように指導するか迷う場面がある。スタッフを増やせないか自分としても声掛けしていきたい。

#### 指導者

・顧問との情報共有を大切にしていきたい。自分が指導できない平日の様子を聞いたり、休日の生徒の良さを伝えたりするなど、連携を深めていくことが大切。

## 2.実証内容と成果③

### 参考資料（活動写真）



【ソフトテニス】初練習時の顔合わせの様子



【バスケットボール】練習の様子



【軟式野球】練習の様子



【陸上競技】練習の様子

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和3年

協議会設置、  
検討開始

試行2種目の  
競技団体へ説明

令和4年

試行2種目の  
指導者を決定  
試行開始

新たに試行3種  
目の実施計画策  
定

令和5年

地域クラブ活動  
の開始

令和6年

地域クラブ活動  
の拡大  
本格実施に向け  
た取組

#### ●経過

・令和3年度に部活動地域移行準備委員会を発足し、年3回の会をもった。

#### ●実施にあたって生じた課題

・委員の選考をどうするか  
・今後の方針をどう示すか

#### ●実施内容、工夫した点等

・各種団体の会議に出向いての説明  
・各種連盟・協会への周知と協力依頼

#### ●経過

・令和4年2種目（野球、ソフトテニス）の試行からスタート

#### ●実施にあたって生じた課題

・どの学校をブロック分けするか  
・指導者の確保

#### ●実施内容、工夫した点等

・中体連専門部と打合せを繰り返し、スタートした

#### ●経過

・令和5年、6年と試行種目を増やして実施した。

#### ●実施にあたって生じた課題

・保護者から指導に対するクレームが届くようになった

#### ●実施内容、工夫した点等

・指導者の質の向上を目指し、スポーツ協会とも連携し研修会を実施  
・組織を見直しより動きやすいものとした。

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

### 令和7(2025)年度 柏崎市・刈羽村の休日の部活動地域展開推進計画

令和7(2025)年3月

#### 1 地域展開の方針

- (1) これまでの部活動の教育的意義を継承しつつ、柏崎市・刈羽村の生徒が多様なスポーツや文化芸術をとおし、社会性や人間性を育む場となる活動環境を創出する。
- (2) 生徒が安心して自主的・意欲的に取り組めるスポーツ・文化芸術の教育環境づくりを教育委員会は支援する。

#### 2 今年度の方針

- (1) 今年度末までに準備を完了し、令和8(2026)年度から「休日の地域クラブへの展開」の本格実施を迎えます。
- (2) 休日の地域クラブの立ち上げは教育委員会が中心となって、(一財)柏崎市スポーツ協会や文化芸術団体と連携した体制で実施します。

#### 3 地域クラブの活動概要(試行期間中や本格実施に向けて)

- (1) 休日(土・日曜日、祝日)のみの活動とします。平日は、これまでどおり学校で部活動に取り組みます。
- (2) 「部活動ガイドライン」に基いた活動(土日どちらか1日、3時間程度の練習)とします。
- (3) 地域クラブは、学校単位で行う場合や、一斉集合型(合同練習)、ブロック型(ブロックごとの合同練習)など、部員や指導者の人数、施設などの状況に合わせて実施します。
- (4) 本格実施後(令和8(2026)年度以降)の活動に参加する費用(指導者謝金・保険加入料・用具購入代金)は、原則として受益者負担を想定しています。試行期間中(令和7(2025)年度末まで)は、費用の負担は原額ありません。なお、会場までの移動は、これまでの部活動での練習試合や練習会への参加と同様に、生徒各自(保護者送迎)をお願いします。
- (5) 中学校体育連盟(以下、中体連)各種目専門部・文化部の事務局とそれぞれが所屬する競技・文化芸術団体が連携し、指導方針の一貫性や生徒の多様なニーズの実態を把握して実施します。
- (6) 指導は、各競技団体から推薦された指導者と部活動指導員が行います。指導者は、各競技団体の資格取得者であること、または運営団体が実施する指導者講習を受け、認定を受けることが条件となります。安心・信頼できる指導者育成のための研修会も実施します。
- (7) 平日の学校部活動を指導する教員で、地域クラブでの指導を希望する者は、本格実施後からは教育委員会の許可と(一財)柏崎市スポーツ協会の指導者バンク等に登録した上で、地域指導者として指導に従事することができます。
- (8) 中体連主催や各団体主催の大会・コンクールへの参加は、地域クラブ(合同チーム)としても学校単位としても参加が可能です。それぞれの競技で異なりますので、学校からの連絡や新潟県中学校体育連盟のホームページ等で確認してください。

#### 4 令和6(2024)年度 各種目の地域クラブ活動状況

- 陸上競技(一斉集合型)
 

会場：柏崎市陸上競技場、刈羽中学校グラウンド(雨天・冬期間 第一中・刈羽中体育館)

人数：1・2・3年「238人」、1・2年「156人」

指導者：17名
- バスケットボール(各学校単位型)
 

会場：各学校体育館

人数 1・2・3年「26人」、1・2年「16人」

指導者：8名
- サッカー(一斉集合型)
 

会場：鏡が沖中学校グラウンド

人数：1・2・3年「9人」、1・2年「8人」

指導者：9名
- 軟式野球(ブロック型)
 

東部 会場：第五中(雨、冬：第五中体育館)

人数：1・2・3年「31人」、1・2年「22人」

指導者2名

西部 会場：鏡が沖中(雨、冬：鏡が沖中体育館)

人数：1・2・3年「33人」、1・2年「25人」

指導者2名

北部 会場：第二中(雨、冬：西山中体育館)

人数：1・2・3年「32人」、1・2年「28人」

指導者2名
- バレーボール(一斉集合型)
 

会場：松浜中学校体育館

人数：1・2年「15人」

指導者：3名
- ソフトテニス(ブロック型)
 

△：第一、東 B：第二、第三、松浜(女子のみ)

C：鏡が沖、碧徳

A 会場(第一中・東中) 指導者 4名

B 会場(第二中・第三中) 指導者 5名

C 会場(鏡が沖中、碧徳中) 指導者 4名

人数 男子：1・2・3年「123人」、1・2年「79人」

女子：1・2・3年「125人」、1・2年「81人」
- 剣道(一斉集合型)
 

会場：松浜中体育館、荒浜コメン

人数 1・2年「5人」

指導者：2名
- 吹奏楽(ブロック型) \*会場は\_\_\_\_の学校。第二期は「まちから」での一斉練習を実施

A：第一、第二、松浜 B：第三、鏡が沖、南

C：東、北条、第五 D：碧徳、西山、刈羽

全体人数：1・2・3年「154人」・・・マーチングパレード時

指導者4名

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

### 5 これまでの経過と令和7(2025)年度の試行種目

種目/年度	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度以降 (2027)
陸上競技		合同練習形式(陸上) 秋練習(陸上)				
バスケット ボール		学校単位(中学校体育館)				
サッカー			学校単位(中学校グラウンド)			
軟式野球	※4.7回(開始) ユニフォーム形式(中学校グラウンド)					
バレーボール		合同練習形式(1回練習) (中学校体育館)				
ソフトテニス	※4.5回(開始) ※5年度から3ブロック形式(中学校テニスコート)					
卓球			実施検討	実施しない		
剣道		合同練習形式(地蔵4回) 実施		実施しない		
文化部 (吹奏楽)				ブロック型一斉練習		

- ※R7(2025)年度卓球は指導者のめどが立たないため開校できません。学校部活動としての練習は可能です。
- ※剣道はR7(2025)年度からクラブチームとして夏祭コセンでの練習が始まります。
- ※R7(2025)年3月発生の予定です。年度途中に変更もあり得ます。

### 6 地域クラブの試行及び実施状況

- 試行する部活動は、開始までにそれぞれの競技から学校を通して実施計画が配布されます。詳細は、その実施計画をご覧ください。
- 地域クラブへの参加は、今年度も本格実施以降も学校部活動と同じ種目を選ぶことも、違う種目を選ぶことも可能です。また、参加しないことを選択することもできます。
- 部活動指導員が配置される部活動は、どの学校からも参加が可能です。

### 7 令和8(2026)年度 本格実施時の地域クラブの姿 (R6.11月現在 連盟・協会・指導者の聞き取りから)

- 陸上(一斉集合型)・・・このままで実施予定  
会場：柏崎市陸上競技場、刈羽中学校グラウンド(雨天・冬期間 中学校体育館)
- バスケットボール・・・1ヶ所で実施予定  
会場：中学校体育館  
\*男子3、女子5のクラブチームが活動しており、現在は学校部活動には10数名しかいない
- サッカー・・・地域クラブは実施しない  
\*現在市内には2つのクラブチームがあり、中学生のほとんどがどちらかのクラブチームで活動している

- 軟式野球(ブロック型)・・・このままで実施予定  
東区：南、東、第五、北条 西区：第一、第三、鏡が沖、松浜  
北区：第二、朝徳、西山、刈羽  
東部 会場：第五中(雨、冬：中学校体育館)  
西部 会場：鏡が沖中(雨、冬：中学校体育館)  
北部 会場：第二中(雨、冬：中学校体育館)
- バレーボール(一斉集合型)・・・このままで実施予定  
会場：中学校体育館
- ソフトテニス(3ブロック型)・・・このままで実施予定  
会場：各中学校テニスコート  
\*クラブチームが立ち上がり移行する人数によっては男女2ブロックの可能性もある。  
どの学校をブロック分けするかは今後検討
- 卓球・・・地域クラブは実施しない  
\*指導者のめどが立たない。市内には1つのクラブチームがある
- 剣道・・・地域クラブは実施しない  
\*すでにクラブチームでの練習が始まっている
- 吹奏楽(ブロック型)・・・ブロックでの練習を予定。「まちから」での一斉練習の成果、課題を生かし令和8年度を迎える。

### B その他

- 地域移行に関するアンケート調査結果、アンケートで明らかになった疑問・意見・要望に対する説明は、柏崎市ホームページに掲載しています。下記の QR コード(URL)から読み込みます。  
\*不明な点は、下記までお問い合わせください。



柏崎市教育委員会 学校教育課 (電話:0112)

[https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/kusodate\\_kyoinka/kyoiku/chugakko/36931.html](https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/kusodate_kyoinka/kyoiku/chugakko/36931.html)

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 新潟県 新発田市

自治体名：新潟県新発田市

担当課名：学校教育課

電話番号：0254-22-9532

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	総面積533 km <sup>2</sup>
人口	92,154 人
公立中学校数	10 校
公立中学校生徒数	2,339 人
部活動数	66 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

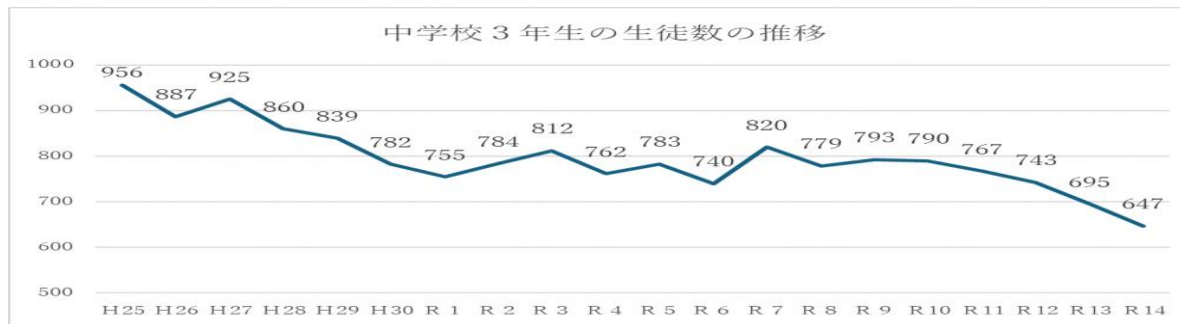
市の関係部署、中学校、市内スポーツ団体等が集まり、令和4年8月に「新発田市地域部活動設置連絡協議会」を発足し、令和4年度に2回、令和5年度に2回、令和6年度には3回の会議を開催し、新発田市の休日における地域部活動のあり方を検討してきた。

課題として、①指導者の確保、②活動場所の確保、③運営主体の確立、④平日の部活動及び学校との連携、⑤費用負担、⑥利用者の移動手段、⑦大会参加など、様々なものが挙げられる。

中学校3年生の生徒数の推移を見ると団体スポーツの将来的な存続は難しいものと考えていることから、改革推進期間である3年間で、

勝利至上主義に陥ることなく、生徒に平等な活動機会を与え、かつ発達段階や健康状態に応じた無理のない指導ができるような体制を作り、同時に教職員の働き方改革の推進を目標とし、地域移行を進めていく必要がある。

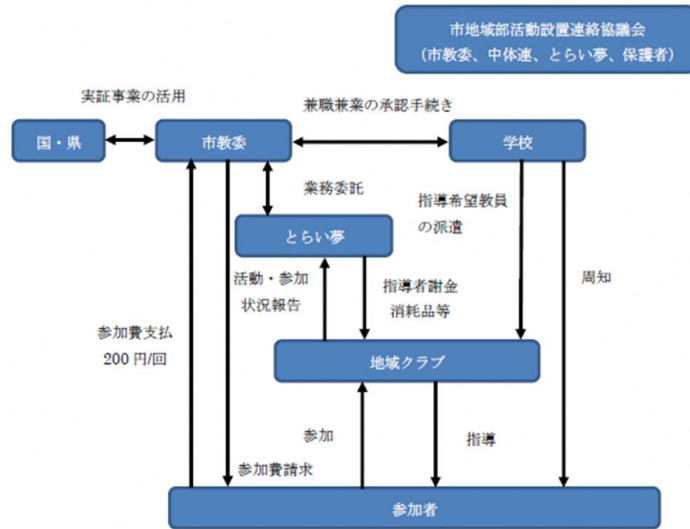
また、長年にわたって部活動は、学校教育の一環で運営するものという考えが生徒、保護者のみならず、教職員にも根付いている。一方、一部ではあるが、部活動に熱心にかかわりたい教職員がいるのも確かである。この部活動の地域移行にあたり、熱心な教職員の思いが置き去りにならないよう、話し合いを丁寧に進め、多くの人たちが納得する形で取り組んでいく必要がある。



出展：H25～R5：学校基本調査、令和6～R14：新発田市立小・中学校児童・生徒数（R7からは見込み）

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会

- 学校教育課
  - ・新発田市地域部活動設置連絡協議会の運営
  - ・県との連絡調整
  - ・委託事業者との連絡調整
  - ・参加者負担金の請求及び収納
- 教育総務課
- 生涯学習課
- 文化行政課
  - ・施設の整備
  - ・広報活動
  - ・地域文化活動の環境整備

#### ◎首長部局

- スポーツ推進課
  - ・学校開放（スポーツ利用）と公共スポーツ施設活用
- 財務課
  - ・予算措置

## 年間の事業スケジュール

### 令和6年

5月 新発田市中学校ラグビー部休日部活動の地域移行

7月 第1回地域部活動設置連絡協議会  
中体連専門部、中教研音楽部への説明会  
地域団体への説明会

8月 部活動地域移行実務者会議の立ち上げ  
剣道部休日部活動の地域移行

8月～10月 第1回団体打ち合わせ

10月 第2回地域部活動設置連絡協議会

11月～令和7年2月 第2回団体打ち合わせ

12月～令和7年2月 6年生児童、保護者への説明会（入学説明会）

### 令和7年

1月～2月 中学1、2年生への説明会

2月 第3回地域部活動設置連絡協議会

3月 「令和7年度入部の手引き」の配付

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	10 校	実施した地域クラブ総数	2 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2 クラブ（3部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	5 人	全体の運営スタッフ数	6 人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体 種別	種目 ※新規のものは 末尾に（新）を 付ける	実施回数	実施時 間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者 数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方 法
新発田市中 学校ラグビー 部	認定NPO 法人新発 田市総合 型スポーツ クラブとらい夢	ラグビー (新)	週1回 (土)	13:00 ～ 16:00	3年 16人 2年 9人 1年 2人	5月 ～ 2月	中央公園 人工芝 グラウンド	2人	1人 (指導者兼務)	年会費 2,000円 参加費 200円/1回	地域クラブ
新発田市剣 道連盟新発 田市剣道ス ポーツ少年 団	認定NPO 法人新発 田市総合 型スポーツ クラブとらい夢	剣道 (新)	週1回 (土)	9:00 ～ 12:00	2年 7人 1年 19人	8月 ～ 2月	カルチャー センター 剣道場	3人	1人 (指導者兼務)	年会費 2,000円 参加費 200円/1回	中体連：部 活動 その他：地域 クラブ

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

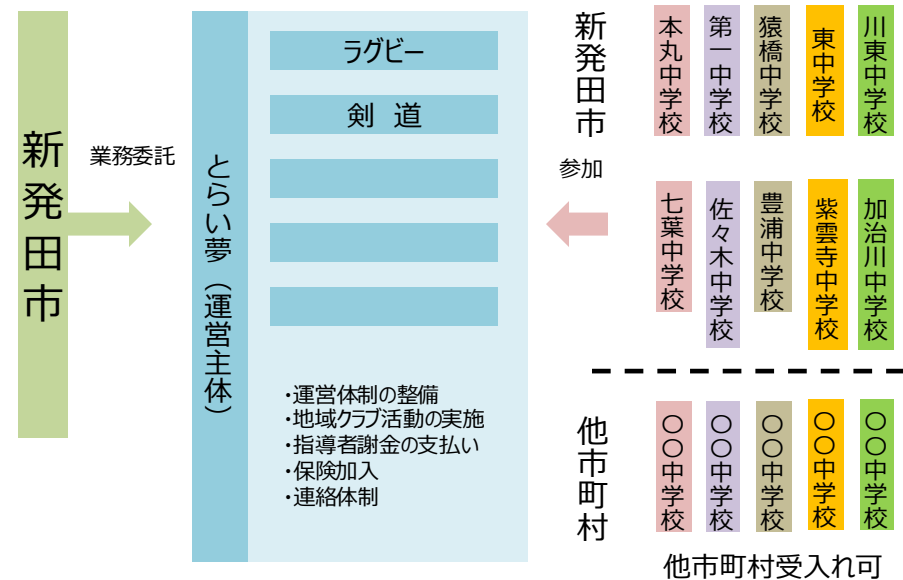
- 特になし。

## 主な取組例

### SHIBATA地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ラグビー、剣道
運営団体名	認定NPO法人新発田市総合型地域スポーツクラブ とらい夢
期間と日数	ラグビー：5月1日～2月28日 月4回程度 剣道：8月1日～2月28日 月2回程度
指導者の主な属性	中学校教員、とらい夢加盟団体選手、スポーツ少年団指導者
活動場所	中央公園グラウンド、カルチャーセンター
主な移動手段	自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	ラグビー、剣道 2,000円/年（スポーツ保険料を含む） 200円/1回
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 総括コーディネーター  
役割：活動における管理者として、新発田市、学校、保護者との連携を行う
- 主任指導者 1名  
役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う
- 運営補助者 1名以上  
役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

○地域スポーツ団体への説明を行い、休日部活動の地域移行に係る周知を図る。

○競技ごとに地域スポーツ団体、教職員と個別に打ち合わせを行い、地域移行のイメージをもつ。

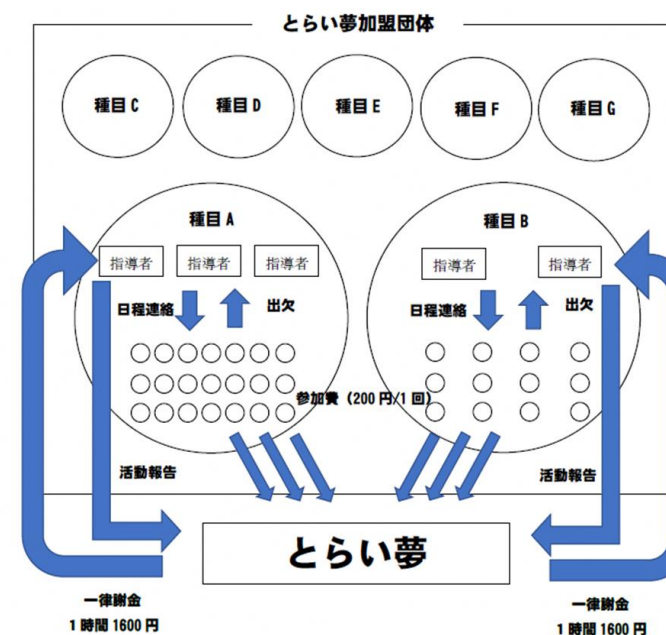
○運営団体と情報交換を行い、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。

##### 取組の成果

○地域スポーツ団体への説明を行い、競技ごとに部活動の地域移行について丁寧に説明したことにより、地域スポーツ団体と協力をして、実施主体をつくるためにはどのようにしたらよいかを前向きに情報交換できるようになった。

○競技ごとの打ち合わせに、地域スポーツ団体だけでなく、教職員にも参加をしてもらうことで、学校側の思いも、反映させることができた。

○運営団体が実施主体を加盟団体とすることで、活動内容、参加生徒数、指導者を把握し、指導者がいなくなり活動ができなくなったり、参加生徒数が少なくなることにより謝金の確保が難しくなったりすることがないようにするシステムを考えることができた。



##### コーディネーターの具体的な動きの実績

○年3回の実務者会議、地域スポーツ団体との打ち合わせに参加してもらうことにより、よりよい地域移行の形を考えることができた。

○運営団体と実施主体の代表、行政担当で、運営部会を開き、実施主体の運営について、確認することができた。

##### 今後の課題と対応方針

○令和8年度に、運営団体を中心に、各実施主体が自走できるよう体制整備を行っていく。

○令和8年度に向けて、目途が立っていない競技について、丁寧に話し合いを進め、休日の生徒の活動場所がなくならないように体制整備を行っていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

- 地域クラブ活動に携わる指導者全員を対象にした研修の機会を設定する。
- 既存のスポーツ少年団等の指導者に対して、市スポーツ協会が研修会を実施している。地域クラブの指導者についても、参加できるようにする。
- 新発田市休日地域クラブ認定基準の緩和をし、多くの指導者を確保できるようにする。

##### 人材バンクの人数

- 市独自の人材バンクは作っていない。
- 県のにいがた地域クラブ活動指導者バンクを活用  
令和7年1月23日現在 44名
- 学校の地域コーディネーターのつながりを活用

##### 人材バンクの年齢構成

- 県のにいがた地域クラブ活動指導者バンク
 

20代 7名	30代 9名
40代 6名	50代 14名
60代 6名	70代 2名
- 学校の地域コーディネーターによる紹介
 

30代 2名	40代 1名
--------	--------

##### 種目

- 県のにいがた地域クラブ活動指導者バンク
 

野球 9名	バレーボール 5名
空手 4名	サッカー 3名
陸上 3名	バスケットボール 3名
ダンス 3名	水泳 2名
卓球 2名	ソフトテニス 2名
剣道 2名	
自転車、弓道、カヌー、フィギュアスケート、 車椅子ダンス、スノーボード、ボート 1名	
- 学校の地域コーディネーターによる紹介
 

卓球 3名
-------

##### 資格有無

- 県のにいがた地域クラブ活動指導者バンク
 

コーチングアシスタント 1名
スタートコーチ 1名
コーチ1 4名
コーチ2 3名
コーチ3 4名
その他各連盟・協会資格 11名
資格無 20名
- 学校の地域コーディネーターによる紹介
 

資格無 3名
--------

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 指導者研修の内容

11月30日 指導者研修会

講師：西原康行様（新潟医療福祉大学副学  
長、新潟県部活動改革検討委員会座長）

内容：安心・安全なスポーツ環境をつくるには  
～プレイヤーズセンタードコーチング～

##### 受講者の声

中学1年生（剣道）

- ・丁寧に教えてくれるところがとてもいいと思いました。
- ・みんなが平等にできるようにしてほしい。
- ・学校でできない分の練習ができ、冬になると時間も限られてくるけれど地域移行だと多く練習できるところがいい。

##### 取組の成果

○指導者研修会参加者 30人

○新発田市休日地域クラブ認定基準の緩和を行った。

新発田市の認定システムについて、各団体から認定されるハードルが高すぎると意見が出ており、休日の受け皿になるための高い壁となっていた。公認スポーツ指導者の資格をとるには、4万～5万円かかる。現在資格を持っている指導者が、団体によっては、非常に少ない。県、各市町村からの状況から、地域クラブが中体連の大会に出ることを目標にするため中体連の基準に合わせることに適切と考え、以下のように緩和した。

旧：指導者が2人以上いて、公認スポーツ指導者の資格を2名以上、もしくは、現職教員でなければならない。

**新：指導者が2名以上いて、公認スポーツ指導者の資格を持っていることが望ましいが、資格を持っていないとも、相当の指導経験があり、今後指導者資格を取得する意思がある指導者により、適切かつ組織的な活動が行われている団体であること。**

##### 今後の課題と対応方針

○認定基準を緩和した場合においても、子どもたちが安心して、スポーツを継続していくためには、公認スポーツ指導者資格を有する指導者のように、「指導技術の担保や生徒の安全・健康面の配慮など、生徒への適切な指導力等の質のみならず、暴言・暴力、行き過ぎた指導、ハラメント等の行為も根絶する」ことができるよう、指導者の資質向上に努める必要がある。

⇒令和7年度は、以下の2点の実施を検討していく。

**（1）受講料等を補助し、公認スポーツ指導者資格の取得促進をする。**

**（2）年2回の研修会の機会を設け、公認スポーツ指導者の資格を持っていない指導者は必ず、年1回は研修を受けさせるようにする。**

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

○指導者派遣、公共施設の利用、研修教材の提供・講師派遣などについて、市関係課、市スポーツ関係団体と連携する。

○競技ごとに地域スポーツ団体、教職員と個別に打ち合わせを行い、地域クラブ指導者を確保する。

##### 取組の成果

○総合型地域スポーツクラブと連携し、部活動の地域移行を進める12競技において、説明会、団体打ち合わせを行った。

地域スポーツ団体への全体説明会：1回

中体連専門部、中教研音楽部への説明会：1回

サッカー：3回 吹奏楽：3回 バレーボール：4回 卓球：3回 陸上：3回 柔道：2回

ソフトテニス：4回 軟式野球：3回 バasketボール：2回 ラグビー：2回 剣道：2回

##### 指導者確保の状況

ラグビー2名（兼職兼業教職員、社会人チームの選手）

剣道3名（剣道連盟）

男子バレー2名（兼職兼業教職員、高校のバレー部顧問）R7年度より

野球6名（兼職兼業教職員、部活動指導員、外部指導者）R7年度より

新体操2名（総合型地域スポーツクラブ職員、体操クラブ指導者）R7年度より

卓球4名（希望した地域の指導者）R7年度より

その他、各団体にて調整中。

○総合型地域スポーツクラブが、講師についての選定し、研修会を実施した。

○公共施設の利用については、キ：学校施設の活用等で別途述べる。

##### バスの運行実績

○バス運行なし。予定なし。

##### バスの運航経費・収入

##### 今後の課題と対応方針

○指導者が派遣できない地域スポーツ団体も出てきている。部活動設置連絡協議会にて、**保護者会での運営**を可能とすることとした。

○子どもたちが安心して地域クラブの指導者を受け入れられるよう、また、子どもたちとのつながりづくりや指導への不安を抱える地域クラブ指導者からの意見を踏まえ、**地域クラブ指導者と学校職員が一緒に指導する場を設け、練習内容等の情報共有や引継ぎを行うことで円滑な移行を図る。**

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組

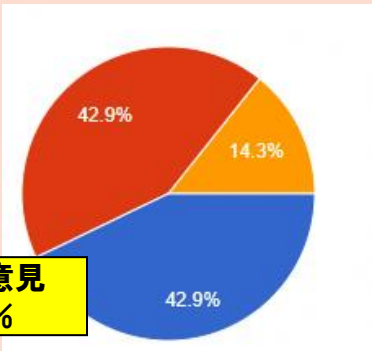


## 取組内容

### ●取組項目名 オ：内容の充実

#### 取組事項

○生徒のニーズや意見等が反映させる取組  
 ・生徒へのアンケート調査を実施する。

活動の詳細	
参加人数	53人 指導者数 5人
属性	生徒アンケート（対象1年生21名）
具体的な内容	1年生のみ生徒アンケートを実施 （各学校で1学年朝会で説明会后、タブレットでアンケートに回答） ※2学年は、大部分が地域移行に関係してなく、関係している生徒には、事前に説明をしているため、実施しなかった。そのため、アンケートも実施しなかった。）
子供の声（良い点）	・丁寧に教えてくれるところがとてもいいと思いました。 ・学校でできない分の練習ができ、冬になると時間も限られてくるけれど地域移行だと多く練習できる所がいい。
子供の声（改善点）	・保護者の送り迎えがしてもらえない。 ・休憩タイムを増やしてほしい。 ・休日は休みたい。
関係者の声	● アンケートを参考に、地域クラブ活動に活かしていきたい。
運営経費	現在の休日の地域クラブについて  ● 満足している 42.9% ● やや満足している 42.9% ● やや不満である 14.3% ● 不満である 0% ● 休日の地域クラブの活動に参加していない 0% <b>肯定的意見 85.8%</b>

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

#### 取組事項

○地域クラブの運営にあたっては、持続可能な仕組みづくりを行っていく必要があることから、実証事業における収支構造の可視化を行い、適切な受益者負担額の設定を行っていく。

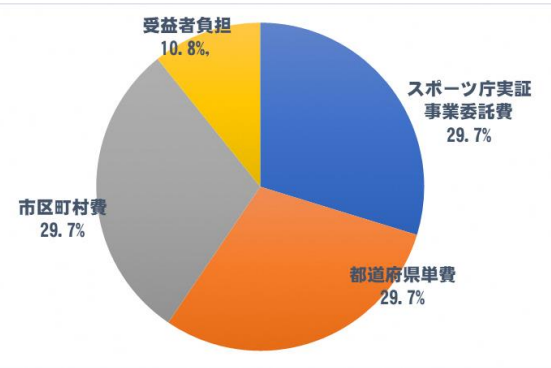
○経済的困窮世帯の生徒が地域クラブ活動に参加する場合に、参加費等の減免や援助について検討する。

#### 取組の成果

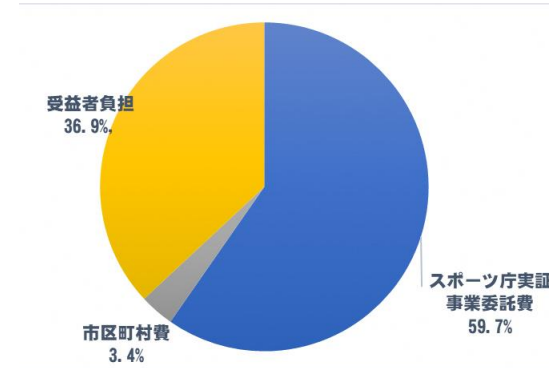
#### 地域クラブに係る経費

#### 収支バランス

○令和6年度：受益者負担率124,800円/1,160,335円 = 10.8%  
 令和7年度見込み：受益者負担率3,428,000円/9,283,284円 = **36.9%**



令和6年度



令和7年度見込み

#### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

○来年度予算を地域クラブの回数及び参加予定人数で試算すると、

1回当たり542円の費用がかかる。

●経済的困窮世帯の生徒への支援は、まだ、未確定の部分が多く、検討が進んでいない。

#### 今後の課題と対応方針

○実証事業終了後、国、県、市の助成はなく、受益者のみで負担していくことになる。**令和7年度の状況を踏まえ、令和8年度以降の保護者の費用負担額を決定**していく。

○現状、市の就学援助制度では部活動の費用を認めていない。地域クラブへの参加に際し、経費を支援する場合は、国県の財政支援の下、就学援助制度の見直しが必要である。

○現在、改革推進期間であり、まだ、休日部活動の地域移行が完了した姿が描けていない。いくつかの地域クラブができて、どのくらいの生徒が参加するのか、保護者の費用負担はいくらが望ましいかなど未確定の部分が多く、試算をできない状況である。

**令和7年度：地域クラブの数、保護者の費用負担の確定**

**令和8年度：参加生徒数の確定 ⇒ 経済的困窮世帯の生徒数の確定 ⇒ 試算 ⇒ 国県の財政支援を要望**

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
 ク：その他の取組



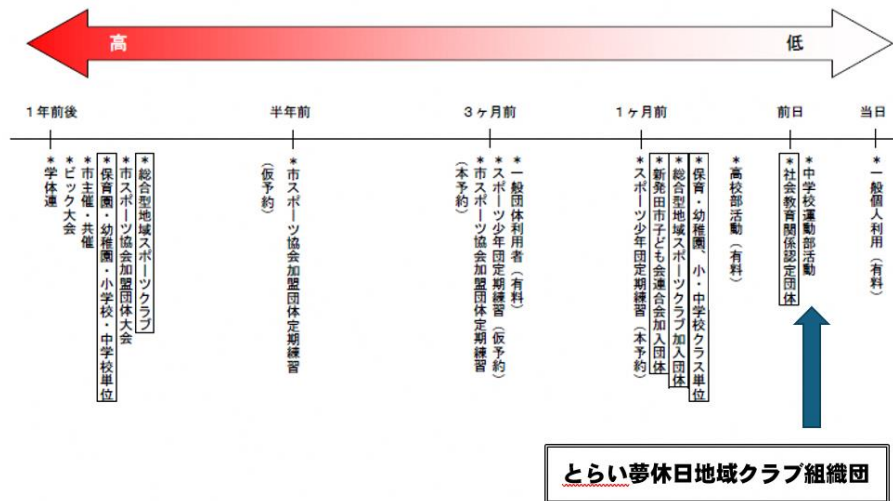
### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

○地域クラブ活動のために学校施設を使用する場合の優先利用等の仕組みを検討する。

施設の予約における優先順位は次のとおりとする。ただし、施設の管理運営上、個別に内規等を定めている場合は、それに従うこと。



#### 取組の成果

○学校施設を含めた公共施設のスポーツ利用については、市スポーツ推進課の管轄であり、基本スタンスを関係者で共有した。

新発田市の公共施設は、現在、基本的に市民の方が使っており、中学校の地域クラブが占領することは、本意ではない。学校施設については、平日19:00より学校開放の時間であるが、**19:00までの時間と土日は、地域クラブのための時間として活用する。**

ラグビー：中央公園人工芝グラウンド

剣道：カルチャーセンター

男子バレー：七葉中

軟式野球：各学校のグラウンド

新体操：本丸中体育館

卓球：東中体育館、加治川中体育館

○公共施設の優先順位について、**地域クラブにおいては、前日、空いていれば無料で予約ができる。その他の減免はなく、3か月前から、有料で借ることが可能**であるということ市スポーツ推進課と確認した。(左図)

#### 今後の課題と対応方針

○令和8年度より、多くの地域クラブが学校施設を使い、活動が土曜日午前に重なることが予想される。各中学校の体育館割り振りやローテーションなど、使用のきまりを作っていく必要がある。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

○2競技の休日の地域移行が進んだ。令和6年度当初はどの競技を地域移行するのか、地域移行した際、中体連の大会に学校単位で出場するのか、クラブ単位で出場するのか、地域移行後のクラブ運営はどうするのか等様々なものが見えていなかったが、本実証事業において、**関係団体等と協議を重ねたことで、地域移行の具体的な形が見えてきた。**

○どの競技を地域移行するのかという課題については、7月に行われた第1回地域部活動設置連絡協議会において、**現存する12競技の地域移行を目指す**こととし、令和8年度、休日の部活動をなくした時に、子どもたちの行き場がなくならないようにすることが大切だという意見でまとまった。

○地域移行した際、中体連の大会に学校単位で出場するのか、クラブ単位で出場するのかという課題については、多くの部活動は、まだ学校単位で出場することが可能であるので、平日の部活動は残し、**学校単位が基本**であることを確認するとともに、チームスポーツである野球、サッカーは、現在、チームが組めなくなっていることを踏まえ、いくつかの学校を集め、地域クラブとしてチームを作ることにした。

○地域移行後のクラブ運営はどうするのかという課題については、当初、スポーツ少年団や現存するクラブチームのように、1つ1つのチームが独立することがよいと考えたが、各チームで独立した場合、指導者の謝金を考えると、「会費から自分たちの謝金をもらうことに抵抗があるだろう」、「指導者謝金の支払いなしでは、指導者が集まりにくく、持続可能ではないだろう」という意見があり、**総合型地域スポーツクラブが12競技を加盟団体として束ね、保護者からの参加費の徴収、謝金の支払いをする方向**で、現在話し合っているところである。

○地域団体への説明会、中体連専門部、中教研音楽部への説明会では、細かい課題について、1つ1つ検討し、随時、説明をすることにより、ともに考えていくスタンスに変わっていった。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ● 成果の評価

○地域団体への説明会、中体連専門部、中教研音楽部への説明会、各部活動保護者会への説明会、新入生説明会等で、周知を図ったことで、休日の部活動の地域移行について理解が深まった。

○令和6年度に地域移行したラグビー部、剣道部が軌道にのり、休日の練習の他、クラブ単位で休日の中体連以外の大会への出場を行った。

○新たに4競技「男子バレーボール」、「野球」、「新体操」、「卓球」の地域移行の目途がたった。その他の競技についても、準備を進めており、令和7年度途中からの一部開始を含め検討しているところである。

○参加費については、現金回収ではなく、チケット制を導入したが、扱いが煩さであることから、ラグビー部保護者会でキャッシュレス決済ができないかという意見があり、地域移行アプリの導入を検討した。令和7年度からラグビーで地域移行アプリを試験導入することにした。

#### ● 今後に向けて

○地域移行アプリの試験導入により総合型地域スポーツクラブへの参加費納入、地域クラブからの報告、謝金の支払いまでの一連の流れを確立させる。

○地域団体、顧問打ち合わせを丁寧に行い、令和8年度の全面移行に向けて準備を進める。

○周知活動を丁寧に行い、生徒、保護者の不安が少しでも小さくなるようにする。

### アンケート結果・参加者の声



ラグビー練習



剣道練習

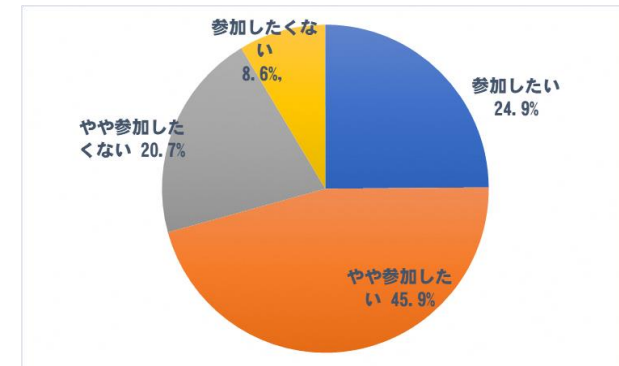
#### ●参加者の声

中学1年生（剣道）

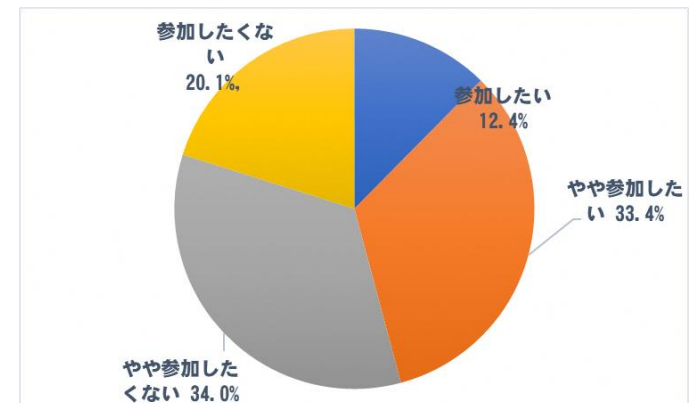
- ・丁寧に教えてくれるところがとてもいいと思いました。
- ・みんなが平等にできるようにしてほしい。
- ・学校でできない分の練習ができ、冬になると時間も限られてくるけれど地域移行だと多く練習できる場所がいい。

#### ●アンケート結果（中学1年生）

Q1 休日の部活動が地域移行をし、自分の通っている中学校で行えるとすれば、参加したいと思いますか。



Q2 休日の部活動が地域移行をし、他の中学校や公共施設で行うことになった場合、参加したいと思いますか。



●場所が変わると参加したいとおもう生徒が半分以下になる。このことを踏まえ、来年度の取組に活かしていく。

### 広報資料（教育広報しばたっ子）

No.37

平日は学校、土日は地域？

## 休日部活動の地域移行って何？

少子化による部活動の廃部等により、自分を取り組みたいスポーツができなくなってきています。特に、チームスポーツや小規模校において、それが顕著です。

そこで、国を上げてスポーツ庁が、休日部活動の地域移行に取り組んでいます。新発田市教育委員会では、令和8年度から休日の学校部活動を「地域クラブ活動」に移行することを目指し、現在、各競技団体と話し合いを進めており、準備が整った競技から段階的に移行を進めています。

「地域クラブ」は、認定NPO法人新発田市総合型地域スポーツクラブ「とらい夢」の加盟団体として、地域の指導者や学校の教職員等が、指導を行っていきます。

#### R6年度に移行した競技

**新発田市中学校ラグビー部**



人数 27人 場所 中央公園人工芝グラウンド

活動 土曜日 13:00～16:00  
遠征有、平日は学校部活動

**新発田市剣道連盟 新発田市剣道スポーツ少年団**



人数 26人 場所 カルチャーセンター

活動 土曜日 9:00～12:00  
平日は学校部活動

#### R7年度に移行予定の競技

**七葉VC**



4月から七葉中学校男子バレーボール部は、地域クラブになります。七葉中学校以外の男子生徒でバレーボールをしたいという場合も活動できます。(平日も含む)

**新発田市軟式野球部**



夏の中体連主催大会終了後から9つある中学校の軟式野球部は、3つの地域クラブで活動します。(平日は学校部活動)

**ひまわり体操クラブ 新体操**



夏の中体連主催大会終了後から本丸中学校新体操部は、地域クラブで活動します。(平日は学校部活動)

陸上、柔道、卓球、サッカー等も、準備が整い次第、順次、移行していきます。

No.37

## 部活動の地域移行 Q & A

休日は、今まで学校の先生が教えてくれたけど、誰が教えてくれるのですか？

休日は、地域の方が指導してくれます。ライセンスを持っている指導者にお願いしたり、研修を受講していただいたりして地域クラブの指導体制を整えています。専門性のある学校の先生が指導する場合もあります。しかし、指導者不足という問題もあります。今まで、スポーツをやってきた方々などに声をかける場合があります。ぜひ、ご協力ください！

どこで、練習するのですか？

原則、新発田市内の学校施設で練習します！また、通っている学校ではなかったり、公共施設を使ったりする場合があります。お家の方には、練習場所への送迎をお願いすることになります。

お金はかかるのですか？

スポーツ保険を含む「登録料(2,000円/年)」と「参加費(200円/1回参加)」が必要になります。その他、団体ごとに費用がかかる場合があります。令和7年度の活動状況を踏まえ、令和8年度からの参加費は増額を予定しています。

大会は、学校で出るのでですか？ 地域クラブで出るのでですか？

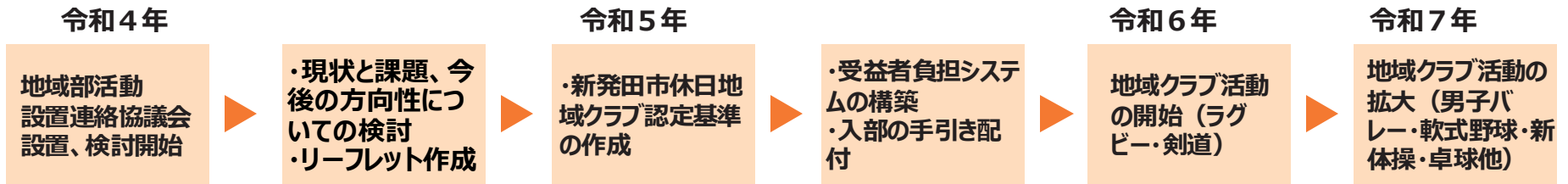
大会(中学校体育連盟主催大会)は、学校で出場したり、地域クラブで出場したり、競技によって違います。現在検討中の種目もありますが、男子バレーボール、軟式野球は地域クラブで出場する予定です。各競技によって違いますので、不安があったら、下記のお問い合わせ先聞いてみてください。

学校の部活動が変わっていくんですね。

これからは皆さんがスポーツや文化活動に親しめる環境を整えていきます。

問合せ先 / 学校教育課(豊浦支所2階) ☎22-9532

## 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



### ステークホルダー

学校、総合型地域スポーツクラブ（総括コーディネーター等）、スポーツ協会、競技団体

市長部局（スポーツ推進課）、市教委（学校教育課、教育総務課、生涯学習課、文化行政課）

### 経過

令和4年度に、地域部活動連絡協議会を設定し、総合型地域スポーツクラブを運営団体とした新たな地域クラブ体制を令和7年度末までに構築する推進計画を策定した。令和5年度は、新発田市地域クラブ認定基準の策定、受益者負担のシステムの構築、ラグビー、剣道の2競技の地域移行に向けた準備を行った。令和6年度は、地域の各競技団体、中体連専門委員、中教研音楽部との協議を進めた。

### 実施内容

2競技（ラグビー部、剣道部）において、休日の部活動を地域クラブ活動へ移行する取組を開始した。

### 実施にあたって生じた課題

○参加費の徴収に、チケット制を導入したが、指導者のチケット回収の手間、子どもたちのチケットトラブルなど、ラグビー部保護者会でキャッシュレス決済ができないかという意見が出された。

○市内施設11ヶ所でチケットを販売しているが、現在は地域移行した競技が2競技であるため、販売数は多くないが、来年度はさらに増えることから、売り上げ回収や精算が煩雑となることが予想される。

### 今後の展開

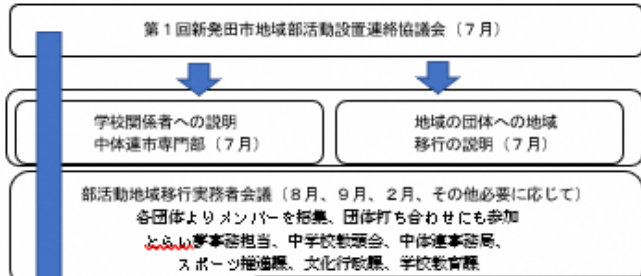
○地域移行アプリの試験導入により、保護者、指導者、地域スポーツクラブ担当者、市教委担当者の手間が簡略化できないかを検証する。

○各地域団体と教職員の協議を進め、令和7年度末には、休日の部活動を地域クラブに移行できる準備を整える。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

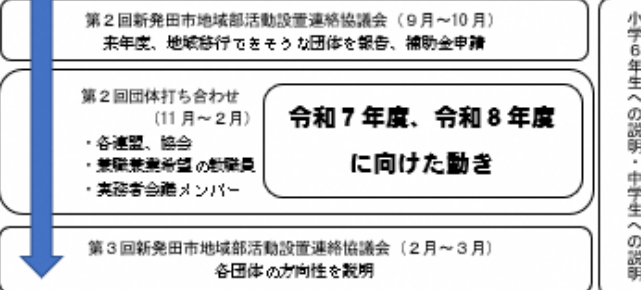
令和6年度



目標 令和7年度に3つは移行

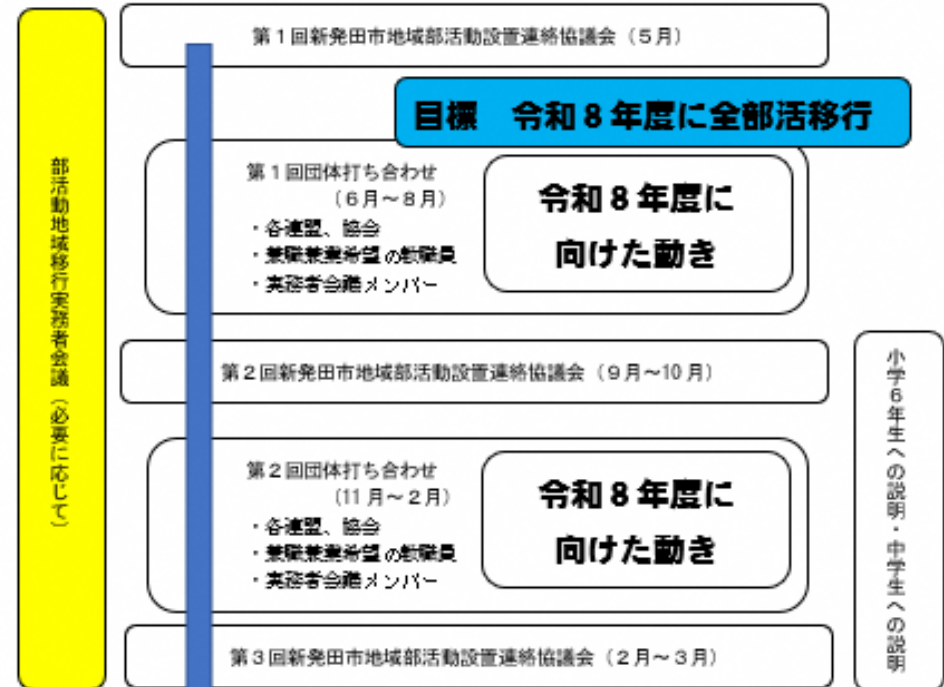


部活動地域移行実務者会議（必要に応じて）



小学6年生への説明・中学生への説明

令和7年度



部活動地域移行実務者会議（必要に応じて）

小学6年生への説明・中学生への説明

令和8年度

全部活：休日の学校部活動の地域移行完了  
平日の部活動移行の取組へ